

JARL CONTEST REVIEW

6m AND Down Contest

5 - 6, Jun 2003

6m AND Down コンテスト 入賞者レポート

X50 エリア優勝者の声

関東 1 位	JP1LRT	固定局は戦術でカバーする
中国 1 位	JH4UTP	「より多く、より遠く」
四国 1 位	JE5JHZ/5	ローパワーでも楽しめる
北陸 1 位	JM2FCJ/9	59 マルチ獲得に感激した
信越 1 位	JH0BQX/0	生声と縦振電鍵で 18 時間

2003 年 7 月 5 日, 6 日に開催された 6m AND Down コンテストの CONTEST REVIEW です。今回は激戦区となった電信電話部門シングルオペ 50MHz バンドの各エリア優勝者の方々にレポートをお願いしました。

6m AND Down コンテストは局数が多い 1 エリアが優位と言われますが、今回のようにコンディションが良くして全国的にオープンすると、どのエリアでも全国上位を狙うことができます。

逆にいえば 1 マルチの取りこぼしが順位を大きく左右することになります。

皆さんもこのレポートを読んで、より上位を目指してがんばってください。

固定局は戦術でカバーする

関東 1 位 JP1LRT 津久浦 慶治

640 × 56=35,840

プロフィール

1983 年 3 月に 50MHz にて開局。当時は IC-502 で運用していた。1995 年から何となくコンテストに参加したが、そのうちはまってしまった。JARL の 4 大コンテストのうち FD 以外に参加。固定からし

か気力も体力も持たないのです... 私のコンテストに参加する基本方針は「らくらくこんてすと」です。山岳移動とかではなく、自宅からの参加。いつものデスク、いつもの部屋、いつものトイレ。腹が減ったら冷蔵庫（冷えたビールが超重要!!）。睡眠は自分の布団です。

使用機材

RIG： FT-920 + AMP

ANT： 8ele YAGI 13mh, 2ele HB9CV 11mh

PC： NEC PC-9821Ns, zLog(DOS), CW インターフェスはシリアル用 DOS 版の安定性と使い勝手の良さ、また慣れからも今回もこれとしました。

インターネットに接続したノート PC 最近は素晴らしいページがありコンディションの予想に使えます。日本国内の電離層観測データ

<http://wdc-c2.crl.go.jp/ISDJ/>

8ele 一本ですとサイドからの呼び出しに対応できないので、90度方向の違う HB9CV を上げています。

なぜこの部門を選んだのか

基本的に 6m が好きなのと、他のバンドの知識もコンテストに参加できるようなまともな設備も無いため。

獲得目標

参加するからには「優勝」です。全国は無理としても関東エリアは制覇したい。大胆な目標を立てました。当初はスケジュールの関係で参加が危ぶまれていたのですが、いざ参加可能となると欲が出てきました。去年は寝て、休んででエリア 4 位、 $488 \times 37=18,056$ でした。今年は少なくとも 550 局、マルチも 50 ととんでもなく大胆な目標を立てました。

過去のコンテストから改善・強化した点

実際にはできなかったのですが、垂直系のアンテナを用意したかったです。6m は GP の局もいるためです。偏波面を合わすのも重要な事です。

準備

特にありません。当日の休みをリクエストしただけです（不規則勤務なので）。

コンテスト当日

当日は 15 時から 2 時間ほど昼寝をしました。ちょっと寝足りないかとは思いましたが。コンビニで買い物を。ドリンク剤、眠気覚まし、ブラックコーヒー、ウーロン茶、ビタミン C 入り飴、ガム。冷えたビールやその他の食料は自宅の冷蔵庫に完備です。

コンテスト前～

コンテスト開始前のコンディションは Es が発生していて 4, 5, 6 エリアが入感しています。しかしその強度は「がつん」というものではありませんでした。コンテスト開始後 3 時間はひたすら RUNNING という方針はどのコンテストでも共通ですが、今回は迷いました。明日の日中に開かないとすればマルチ拾いは今のうちにしないといけない。しかし夜中に FAI が開けば 6 のマルチはとれるだろう... 結局いつも通りの RUNNING で行くことにしました。シャックには 20 時半くらいより入り、周波数の確保です。確保と言うほどのことでもないのですが、50.300MHz より低い周波数をキープして適当に CQ。ローカルが呼んでくれました。ちょこっと話してまた CQ。またまたローカルが呼んでくれました。彼は CW 部門ということでコンテスト中の再会とお互いの健闘を祈ってその後また CQ。なんと JA4IQK 局が呼んでくれました。ラグチューしながらコンテストに突入。コンテストのスタートが 1 エリアの局以外というのは初めてです。さい先の良いスタートです。

スタートから終了まで

コンテストに突入し、最初の一時間は 94QSO とごく普通のペースです。2 時間目は 70 QSO でした。最初の 3 時間で 250QSO を考えていたのに、結果は 231QSO でした。しかしマルチは最初の 1 時間で 24。その後は 3, 2 という感じでした。6 エリアのマルチはすべて最初の 1 時間で取れたのはその後の

方針に大きく影響しています。最初の3時間はSSBでランニングと決めていたので、ずっとCQを出し続けました。日が変わった後はCWに移り、CQ TEST。ALL JAと違いたまにSSBに戻ったりしながら3時半まで。4時台は経験的に「仮眠時間」。しっかり寝ました。5時から再開。

劇的な変化が現れたのは7時台後半から。CWで西にアンテナを振っているとバズ音が入ってきました。オープンすると期待をしていると西からオープン。6がガンガンに入ってきました。と同時になんと8が!!!!!! すぐさま北にアンテナを振りマルチ拾い。もちろんマルチ以外にも交信。8のマルチが次々取れる。一方西方面は4~6が入っていたが「無視」を決め込んで8のマルチ一本に。結果111と113以外のマルチは拾えました。これはデカかった。Esは7の北部にとどまらず、秋田まで開いていました。これで北方面のマルチは先の2つを残して全て取ってしまった。後は西向け一本です。ひたすらCQを出すと面白いように1,2,4,5,6から呼ばれます。ログはまるでHFの様です。取れていなかったところもドンドン埋まる。31,32,34,36等。これはけっこういけるかな???

今回も滋賀,奈良,京都が残る。相性か... 奈良の移動局はいつも強いのに... 京都はいつもの移動局が相楽郡にいるはずだが見つけれない。しかし奈良の局はCWで呼んできてくれました。京都も終了30分前に見つけることができ無事取得。かの局のCQを聞いた瞬間に彼だと分かりました。CQが終わるのをドキドキしながら待ちました。

7時以降は30局以上/毎時を維持しながら(12時台は23局)15時に終了。疲れしました。

反省点

目標はクリアする事ができました。

相変わらず都区内はノイズと近接局のかぶりがひどいです。またバズ音のため取りきれない局がたくさんいました。コンディションも良すぎでした...・

アドバイス

6mの場合、コンテストに勝つ気で参加しているのは、ほとんど移動局です。ロケーションのいいところから出てこられますので、固定から頑張る場合は戦術でカバーです。仮眠のタイミングやSSB・CWのモード変更のタイミングなど、見極めが重要です。

コンディションの把握はむしろ固定の方がしやすいと思います。体力を消耗する度合いは、移動局に比較してずっと有利ですので、その分をオペレートに向けて気合いで頑張りましょう。

「より多く、より遠く」との交信を目指そう

中国1位 JH4UTP 宮地敬幸

521 × 57 = 29,697

プロフィール

誰しも「あんな風にコンテストをしてみたい」という憧れがあると思います。私のそんな憧れの一つが、50MHzのビッグアンテナ・ハイパワーでした。



50MHzに興味をもち始めたのは、'82~'88にJH1YDTからマルチオベで参加してからです。都心の高層ビルで運用する50MHzのパイルは200QSO/hを超える印象的な経験でした。91から始めた移動運用は、手軽に多くの局とQSOすることができ、私を虜にしました。しかし、いずれも設備は標準的なものだったので、大型アンテナ・ハイパワーの局が僅かなコンディションの変化を捕らえてマル

チを獲得していく姿に憧れたものでした。'98からはJH4WBY 岡本さんのシャックから毎年 ALLJA をマルチオペで楽しんでいます。8el と 4CX250 パラのリニアアンプで運用する 50M は、まさに冒頭の夢を叶えてくれる体験でした。'00からは8elをスタック化し5elのサブアンテナを追加して現在に至っています。

準備

今回は3年ぶりのフル参加です。'00にこの設備から参加したときのスコア(468QSO × 56 = 26,208 全国9位) + の3万点が目標です。前の週には、機材のチェックと整備で半日くらいを準備にかけました。準備をしながら JA8 コンテストを聞くと、Es とその Sc で全国が聞こえていて、本番が楽しみです。

また、500w で参加すると弱い局のコピーが一苦労なので、zLog のスーパーチェック用のデータを過去3年の JARL News の結果と私の QSO データから作成しています。ミスコピーを減らす目的でしたが、短いチャンスで効率良く交信するためにも効果的でした。

本番

土曜は仕事の後、まつり準備のボランティアをしてから、シャックへ出発です。開始には間に合わず、おまけに PC の設定ミスなどで 20 分位電波が出せず焦りました。6 エリアが楽しそうに Es を捌いていましたが、こちらは GW のみ。22J からは CW へ QSY。ここでやっと弁当にありつけ、ひと心地です。

さて、出だしはリニアの出力を2分配して8elスタックを東向け、5elを西向けでスタートです。参加局の多い時間帯は局密度の高い2方向にビームを向けて、能率よく局数・マルチを増やす作戦です。一方、遠距離を狙う場合は、8elスタックだけにします。受信のS/Nを良くし、出力を2倍にするわけです。こうして、伝播状況と参加局の動向を考えながら ANT の方向と組合せを変えながら運用するので、なかなか忙しいです。しかし、この夜は1エリアのH局も蚊が鳴くようにしか聞こえません。翌朝に期

待して03Jに寝袋へ。

05Jに目が覚めると一転してGWがよく聞こえます。6:30には早くも8エリアから呼ばれ期待が膨らみます、EsとSc混じりを楽しんでいるうちに condx が上がってきたので、10J前からCQ。7エリアに呼ばれているうちに待望の1エリアが開け始めます。11J前、開けている割にはあまり呼ばれずおかしいな～、と思っていたら他局と同一周波数で潰しあいになっているとQSPあり。相手は聞こえませんがEsで西に勝てるわけもないので即QSY。これがあたって最初の10分で27QSO! 最大瞬間風速5QSO/minのパイルを楽しむことができました。Esはすぐ収束し、午後からは残る4マルチをとるべく2本のアンテナを降りまわしてCQだしたりワッチをしましたが、結局見つからないまま終了時間を迎えました。

岡山はEsは西に、GWは関西に歯が立たないので、あまり恵まれた場所とはいえません。それを補う設備を目指してきましたが、大きく複雑になるにつれ手間もかかり運用も難しくなってきます。しかし、「より多く、より遠く」と交信できたときの面白さは格別です。次の機会には、今回活用できなかった2波同時受信や、ANT3本を任意に組合せるシステムなどを試してみたいと考えています。

設備の大小や結果の上下ばかりにとらわれずに、「より多く、より遠く」と交信する為の工夫を楽しみ、それを仲間と語り合えば、ますますコンテストが面白くなると思いますよ。

ローパワー、シンプルなアンテナでも楽しめる

四国1位 JE5JHZ/5 川中 秀和

$$496 \times 56 = 27,776$$

プロフィール

1987年、小学5年生の時、電話級で開局。当時はお決まりの2mFMで開局するも、世のオトナ達のラグチューについていけず(苦笑)、ショートQSOで

終わり短時間で局数が稼げ、かつ QSL カードも沢山届くようになるコンテストに興味をもつ。

学生時代は JR6(沖縄) より QRV。学寮でシンプルなワイヤーアンテナしか上げられないものの、地の利を生かして HF ハイバンドでコンテストを楽しむ。

5 エリアに帰郷してからは、もっぱら移動運用で参加するようになる。



使用機材

- リグ: IC-706MK2G
- アンテナ: 7ele 八木 7mH(東向け) / 4ele HB9CV 4mH(西向け)
- ログ: zLog(DOS 版)
- 発電機: ホンダ EG550
- クルマ: ダイハツ Move (軽カーです Hi)

なぜこの部門を選んだのか

144MHz 以上は、特化した設備を持っていないことと(ちなみに 1200MHz 以上は免許もありません ^^;)、やはり元々 6m バンドが好きで、このバンドに集中してやりたいと思うからでしょうか。

獲得目標

とりあえずは、過去の自己ベストスコアの更新。そして、できれば 5 エリア 1 位に食い込むことが目標です。でも、当エリアには 6m のコンテストでは重鎮の某 JA5 局 ^^; がいらっしやるので、これがナカナカ...(笑)。

改善・強化した点

遅ればせながら本コンテストから CQ マシンを導入しました。理想は肉声でのオペレーションですが、実際 CQ マシンを使ってみるととっても便利。やはり体力の消耗がぜんぜん違います。

注意点は、適正なマイクゲインにすること、回り込み防止対策をすること(繋がる線にはすべてフェライトバーやコアを入れる / マシンの電源は充電式電池を使用し独立電源とする等)、コンテスト開始前に試しに使用してみて、おかしな変調になっていないかレポートをもらう、ことなどです。

準備

特にこれといった準備はしませんでした。なにぶんにも移動運用ですので忘れ物だけは注意します。参考までに当局が、よく忘れた経験のある機材を以下に列挙します。

・ヘッドホン: (意外と忘れやすい盲点。なくても何とかなるが、微弱な信号や QRM を聞くことの多いコンテストではほぼ必需品。マルチオペでこれを忘れると即リタイアかも? Hi)・発電機のオイルの予備: (目立って減るものでもないの...と甘く見ていると、いつのまにか無くなっていたりすることがあるので注意)

・方位磁石: (アンテナのビーム合わせには必須。特に初めての移動地では、これを忘れると大変かも)

・水平器: (アンテナポールの垂直合わせに使用。特に大型アンテナを上げる場合には、垂直を出さないとポールが伸張できない場合がある)

・脚立: (大型アンテナを上げる場合はあると何かと便利)

コンテスト当日

わりかし優柔不断なもので、いつも移動地をどこにするかで直前まで悩みます。今回もぎりぎりまで悩んだあげく、WX があまり良くないということを考えて、自宅から割と近くでロケーションの良い、愛媛県北条市高縄山 (986mH) に行くことに決めました。

午前中に近くのホームセンターで不足の機材の
買い出しをして、現地に到着したのが 13 時過ぎ。
メインに 7 エレ八木、バック/サイド向けに 4 エレ
HB9CV を設営。終始風が強くアンテナマストを伸
張するのに手こずりましたが、倒壊防止のステーを
嚴重に張って完了。

途中、JH5PHC 局、JA5RCT 局が来訪。同じ
50MHz 部門に出る予定だったそうで、私が設営して
いるのを見てしばしアイボールの後、別の移動地に
QSY していきしましたが、なんだか申し訳なく思いま
した Hi。全部のセッティングを完了したのが 17 時
過ぎ。その後はチャージだけ済ませて、21 時前まで
仮眠。

スタートから終了まで

コンディションが良さそうでしたのでスタートは
SSB で CQ を出していきました。1,7 エリアにチラ
ホラと呼ばれるもののすぐにクローズ。以後、あま
りレートは上がらないもののぼつぼつと呼ばれるの
で辛抱強くランニングする。

22 時過ぎから、ビームを回してくれつつあるので
しょうか、2 エリア方面が聞こえ出す。22 時 30 分過
ぎからバンド内を CW を含めてざーっとスイープし
呼びに回る。その後は RUN と呼び回りをこまめに
繰り返す。

1 時過ぎ、奮発したタウリン 3000 の効き目はあま
りにも弱く(˘; ;, 眠くなる。一応バンド内の局数
がまばらになってきたのを確認して、初日は 1 時 50
分をもって QRT。2 日目は寝過ぎたと思ったが 6 時
前に起床。グラウンドウェーブが延びる時間帯なので
SSB より CW がやりやすいだろうと思い、CW で
ランニングを始めるも、あまり遠方は聞こえてこな
いので、15 分ほどやって SSB に QSY。

バンドを下端からスイープしていると、6 時 30 分
過ぎに突然 8 エリアが強力に入感。7 時からランニ
ング開始すると 8,7 エリアに快調に呼ばれる。7 時
45 分に待望の Es による 1 エリアがオープン。以
後、午前中は FB なオープンが続く。9 時台は沖縄
(@47) と小笠原(@48) のマルチも埋まった。

11 時台になって QRM がきつくなり、たびたび呼

ばれてもコピーできない状態が発生したので、ここ
は見切りを付けて CW に QSY。これが的中しレー
トを回復する。

12 時からはコンディションが下降気味になったの
で、レートは無視し呼び回りと CW を中心とした組
み立てに変更。1 エリアは単発的にしか聞こえなくな
ったが、それでも 1 エリアはコンテスト終了間際
まで入感していた。

反省点

まだまだスカッターが十分活用できていないと
感じます。現状ではいちいち手でアンテナを回さな
ければならないので、こまめなビームの調節ができ
ないからです。より迅速に細かなビームの調整がで
きる機構を考えたい(ローテーターの導入等)と思っ
ています。

アドバイス

勝ち負けはともかくとして、ローパワー、シンプ
ルなアンテナでも楽しめるのが 50MHz です。特に
時期的にも FB な 6m AND DOWN コンテストは初
心者に最適ではないかと思います。

グラウンドウェーブを延ばしたいと思っている場合
は、移動運用が早道です。その場合、ただ単に標高
が高い場所よりも、まず第一に目で見て眺めの良い
所、連峰の頂上よりは独立峰を選ぶのが、良いので
はないかと思います(経験則ですが)。

未筆ながら、いつもコンテスト等で QSO してい
ただいている各局にお礼を申し上げます。CU IN
TEST!

59 マルチ獲得に感激した

北陸 1 位 JM2FCJ/9 大西弘展

$356 \times 59 = 21,004$

プロフィール

1988 年 JM2FCJ 開局

1996 年 JA9YAA 入部 コンテストを始める

2000年 6m AND DOWN コンテスト 50MHz 9 エリア 1 位

全市全郡コンテスト 7MHzCW 全国 1 位

2001年 フィールドデーコンテスト 7MHzCW 全国 1 位

全市全郡コンテスト 7MHzCW 全国 1 位

2002年 フィールドデーコンテスト JI2ZLX/1 にて 7MHz オペ

2003年 フィールドデーコンテスト JI2ZLX/1 にて 7MHz オペ

現在 25 歳

使用機材

リグは TS-850S とトランスバーターを使用しました。もともと、コンテストに使えるような 50MHz 用の無線機を持っていなかったため、2000 年にトランスバーターを製作しました。親機は TS-850S で普段 HF 帯で使い慣れているリグです。トランスバーターの出力は 10W 少々で、それにリニアアンプを接続しています。

アンテナは 2 系統準備しました。一つは 1 エリア向け固定ビームで、もう一つはローテーターを使用して回しました。前者はナガラの SS-96 ブームを目一杯に使った 7 エレ八木、後者はクリエートの CL6DXX で同じく 7 エレ八木です。どちらも地上高は 10mH 弱で、ポールには FSP-610D と FAP-612 を使用しました。

発電機は大きめですが 1500VA の物を使用しました。もう一台 550VA のを持っているのですが、これを高地にもって行くと CW で音が悪くなることがあるのと、照明を使いたかったので、今回は大きいのを持ち込みました。

ロギングには PC を使用し、zLog for Windows を WindowsXP で使用しました。CW のインターフェイスは JG5CBR 中茂氏が開発された USBIF4CW を使用しました。その他に、PC と TS-850S を RS-232C でリグコントロールしました。これも USB を使用し、USB-232C の変換アダプターを使用しています。SSB/CW のモードチェン

ジ時に PC とリグの連携が取れて非常に便利です。



なぜこの部門を選んだのか

局数をバリバリ載ってコンテストに参加したいなら、9 エリアからの 6m AND DOWN コンテストの 50MHz 以外はおもしろくありません。そもそも 9 エリアの V/UHF 人口が少なすぎです。他のエリアに行けば楽しそうですが、時間や旅費の面で余裕がなく 9 エリアから出ることになりました。楽しむにはマルチバンド部門も良いのですが、設備や気分的にちょっとヘビーだったので 50MHz 部門にしました。

獲得目標

2000 年の 6m AND DOWN コンテストで 422 局 × 51 マルチの結果を出しました。これは私が 9 エリアから 50MHz に出た中では最高の記録です。もちろんこれを上回るのが一つの目標で、二つ目の目標として、2000 年に達成した目標で、2 エリアの 1 位より高得点を目指す、この 2 点を目標としました。

改善・強化した点

大きく改善・強化したのは移動場所です。過去に運用したことがあるのは JA9YAA で移動した能登半島の中程にあるの 350mH ぐらいの山、2000 年には石川県金沢市と富山県西礪波郡の境界にある 790mH の山でした。どちらもそれなりに良い場所です。前者は「少し標高が低いかな?」、後者は「東~南に高い山があり、1~2 エリアが不利かな?それに、8 エリアが遠い!」等といろいろ悩みながら検討しまし

た。その結果、能登半島の先端、輪島市にある高州山に決定しました。そこは 500mH も越しているし、8 エリアも近くマルチが狙えるかと、それに山岳回折を利用して 1~2 エリアとの交信に有利かと思いい決定しました。

準備

以前から高州山で運用したかったのですが、踏み出せなかった理由があります。そこには自衛隊のレーダー基地があります。「運用の許可が出ないのではないか?」「ノイズレベルが高いのではないか?」等といろいろ考えましたが、とりあえず運用許可を取ることにしました。まず金沢の陸上自衛隊に電話をし、輪島基地の連絡先を教えてくださいました。結局、航空自衛隊輪島分屯基地とわかり、運用許可書を送るために、住所・担当者等を教えてください、その日のうちに書面を送付しました。コンテストの 2 週間位前だったと思います。その山は霊山ということもあり、登り口がいくつかあるため、「軍専用道路以外は運行をしても良い」との返事をもらい、コンテストの前の週に下見に行きました。

その際に、「ペグは刺さるか?」「アンテナの設営方法は?」「ロケーションは?」などのロケハンを行いました。地図を眺めていた以上のロケーションで、南西(3/4/6 エリア)~南(2 エリア)~南東(1 エリア)~北東(7/8 エリア)にさえぎる物は何もありません。さすがレーダー基地を作るだけあると思います。

心配していたノイズですが、レーダーによると思われるノイズが 50MHz に少々ありました。ただ、その周波数を避ければ問題は無さそうです。144/430MHz も一応調査しましたが、こちらは特に問題がないようです。ただ、今回は調査していませんが、1200MHz にやっかいなノイズがあるということを知っています。

コンテスト当日

車への積み込みは前日に行いました。本当は前日には場所を確保したかったのですが、基地があるような場所ただけあって、高州山に移動する局はいな

いと見越して当日の出発としました。6 時には起床し、7 時に近所のスーパーで食料と飲み物を購入。スーパーが 24 時間営業になったので非常に便利です。家から現地までは約 150km 時間にして約 2.5 時間です。10 時過ぎには現地に入り、アンテナを設営しはじめました。のんびり食事をとったり、暑いのでビールを飲みながら設営したので、14 時過ぎまでかかって設営を行いました。風が強くなく、大きなアンテナも何とか上がりました。50MHz で移動運用を楽しむには、軽量のアンテナや組み立てが簡単など、工夫が必要だと改めて感じました。

スタートから終了まで

まずは局数が稼げる SSB でスタートしましたが、思ったより局数が伸びず 30 分程で CW の運用になりました。

良いロケだと思っていましたが、それほど 1 エリアの入感は無く、少し残念でした。1 エリアから呼ばれるのを期待していましたが、こちらからの電波は 1 エリアでは混信に埋もれているのだろうと考えながらの運用でした。

今回驚いたのは 6, 7 エリアのマルチが埋まるのが早かったことです。両エリアとも海上伝搬で、能登半島先端部からの運用の甲斐があったと思います。8 エリアとの海上伝搬での交信も期待していたのですが、それは 1 局もできませんでした。

目立ったトラブルはありませんでした。毎回ですが、コンテストの途中に眠くなります。何とか眠気を覚ます方法を考えて、雑誌を読んだり、お菓子をつまんだり... とあれこれ試すのですが、今回も日が昇って 8 時頃より眠くなりました。30 分ほど、居眠りをしていて、ふと 8 エリアが聞こえた気がして飛び起きました。Es の発生です。バンド中で 8 エリアが聞こえました。今思い出してもゾクゾクします。早速バンドの端っこから呼びに回りました。8 エリア向けに CQ を出しましたが、意外と呼ばれませんでした。Es の発生は 13~14 時台にもあり、この 2 回の Es で 8 エリアの 14 マルチ中 13 マルチを得ました。

反省点

目標： $422 \times 51 = 21,522$

結果： $356 \times 59 = 21,004$

今回移動した場所は、交信局数も多く狙えると考えていましたが、意外と少ない結果になりました。しかし、59 マルチには感激しました。今まで、個人や社団でコンテストに参加しても、58 マルチまでしか見たことがありませんでした。取れなかったマルチは 111, 32, 49, 50 でした。目と鼻の先の 32 を落としていたのが痛いです。

今後の課題は、やはり局数を伸ばすことでしょう。9 エリアから局数の多い 1 エリアと交信するにはどうすればよいかをもう少し考える必要があります。例えば、少し上の方の周波数で CQ を出すことです。そうすれば、1 エリアの混信に埋もれずにすむかもしれません。アンテナを工夫するのも良いかもしれません。

あと今回失敗したのは、設営時にけっこうな日焼けをしてしまったことです。コンテスト中に体が痛くて集中できない時がありました。薄曇りの時もかなりの日焼けをします。

アドバイス

6m AND DOWN コンテストは、梅雨も明けていないし暑いし移動運用をするには少し大変かもしれません。しかし、山の上に移動すればそれなりに涼しく過ごすことが出来ます。しかも電波の飛びが良いから言うことはありません。最近コンテストに参加する人も少なくなり、CQ を出している暇な時間が多い気がしますが、ちょっと山まで足を伸ばしてハンディーやモービルホイップで電波を出してもらえば... なんて思います。

生声と縦振電鍵で生打ち 18 時間

信越 1 位 JH0BQX 藤原順昭

$409 \times 53 = 21,677$

6m AND Down コンテストは、10 年以上前から

仲間で懇親会をメインにビギナー OP を招聘するという形で、同一場所から参加しています。

この間、トランシーバーを除き HB9CV 6 エレ・スタック、ローテーターその他の機器を自作するとともに運動会テントに椅子、机と OP 環境も整ってきました。しかし、最近は OP 不足（移動免許が無い酒飲みばかり）で、「腹出てきたな！」という隊長の言葉から、今年も私こと藤原（JH0BQX）が生けにえとなり、18 時間に渡る「生声、縦ぶれ生打ち」ダイエットに挑みました。電波の飛びはイマイチでしたが、バックの酒飲み隊からは「CQ 出し続ける！ エリア 1 位を狙え！」などと山間というロケーションを無視した傍若無人な掛け声だけは良く飛んできました。来年の目標は、何とか痩せて酒飲み隊への入隊です....



では、今年の 6m AND DOWN の参戦記に入ります。

話はいつもの誘いから

設営は、自然とできた役割分担で、非常にスムーズ
17:00 には酒盛り。だけど OP は隊長からそれ以上飲むなの指示。いよいよ 21:00 スタート、運用パターンはうるさい酒飲み隊の指示で。局数稼げない。無線している人減ったしね。ツライ 02:00 からの深

夜帯，呼んでこないし出てもいない。

縦ぶれ電鍵でのコンテスト参加雑感いよいよ睡魔が... 2時間寝ていたら起きろコール夜明けとともに、いざ1エリアへ信号をたたき込め、しかし飛ばない。何で??、ロケーション悪すぎ。

オット、Eスポ??ここはガムシヤラしかないマルチを稼げ、1アップ×300点ニューが無くなったら、ひたすらCQ。オット呼んでくるじゃん最後のあがき15:00終了して。毎年Wのマルチホップ入るよね?でも、止めよう自宅で、やっぱりW入ったか、後30分遊んでいれば...

コンテスト暦

冷やかしてDXコンテスト中心に参加はしていますが、さしたる実績はありません。まじめに参加しているのは6m & downコンテストだけです。

使用機材

リグは、IC-575D アンテナは、HB9CV 6エレ・スタック。フジインダストリのポールであげています。昨年から、新兵器、JH0LTJ制作のローテータを使用。

オートキーヤー、ボイスメモリーの類は使用していません。すべて、縦振電鍵と生声です(コンテストが終わる頃には腕は上がらず、喉はかれますが、コンテストの参加した充実感は大きい?ホントはオートキーは苦手、)デューブチェックのため、コンピュータは使っています、SOFTは使い慣れたHAMLOG。JH0EQN制作のオペレーティングデスク(コンパネのみ持参してあとは現地調達の木の枝で現場あわせで制作)。

なぜこの部門を選んだのか

昔から6mに、たむろしていたローカルの宴会を兼ねていますので必然的に。

獲得目標

もちろんエリア1位。昨年の雪辱を果たすこと。

改善・強化した点

移動用ローテータ(昨年から)

準備

自然とできたルールと役割分担で、大きな設備なのですがスムーズにことは運びます。...どちらかという宴会準備の方が大がかり??

コンテスト当日

昼過ぎに現地到着。まずビールを一杯。アンテナ、テント等設営してから宴会の準備。日暮れ頃から宴会を始め、コンテスト開始を待つ。OPはあんまり飲めないのが難点。コンテストが始まると、後方からは罵声、いやいや懇切丁寧なご助言が。

スタートから終了まで

昨年と比べコンディションはまあまあで、トラブルもなく楽しく参加。

反省点

一応目標は、達成しましたが、自己スコア更新はならず。

アドバイス

どなたか、OPをしませんか。私もそろそろ後ろで宴会組にまわりたいのですが...と書くと、いい加減な参加をしているように思われますが、真剣に参加しています。

入賞者のログ分析

1QSO が 1 マルチの有無を左右すること

今回、コメントをいただいた 5 人のログを分析したものです。タイムチャートを見れば何時にどのぐらい QSO しているかが分かります。夜中の 3 時, 4 時は寝ていてもほとんど影響はないということです。

マルチマップが一番上の 3 行がマルチで、縦に「101, 102, 103・・・」と読み、下の行がバンドごとに獲得できたマルチを「*」で表しています。つまり、津久浦さんは 111 (日高), 113 (檜山), 23 (滋賀), 28 (富山), 48 (小笠原), 49 (沖ノ鳥島), 50 (南鳥島) 以外のマルチを獲得していることがわかります。

時間ごとの取得マルチを見れば、どの時間帯にどちら方面のマルチを獲得できているかが分かります。ビームアンテナを使用しているなら、西に向けるか北に向けるか (関東エリアの場合) といった目安になります。

各局とも朝の 7 時, 8 時に北海道のマルチを大量に獲得しています。

面白いのは JP1LRT 局以外は 113 のマルチを 14 時台に獲得していることです。これは JA8IUB/8 局によるもので、この局はほぼ 6 日の 13 時ごろから 14 時半ぐらいまでの短い時間しか出ていなかったようです。他に 113 のマルチを提供した局は 2, 3 いますが、複数局と交信しているのは JA8IUB だけであり、この局とできたかできなかったが 113 のマルチを獲得できるかどうかを左右します。

地域によってはアマチュア局が少なく、そのマルチをとるためにはある決まった局と QSO できなければならぬ、ということもあります。

電信電話部門シングルオペ 50MHz 関東 1 位 JP1LRT

タイムチャート

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
QSO	94	70	67	43	32	23	5	-	16	19	33	34	36	32	49	23	34	31
累計			231			329			350			436			553			641

マルチマップ

```
11111111111111
000000000111110000000011111111112222222222333333333344444444445
123456789012342345678901234567890123456789012345678901234567890
*****.*.*****.*****.*****.*****.*****.*****.*****..
```

時間ごとの獲得マルチ

```
[21] 33 10 45 47 17 18 35 40 12 11 44 38 43 42 41 14 20 13 09 46 15 08 16 21
[22] 06 07 03
[23] 04 05
[00] 30
[01] 27 26
[02] 19
[05] 25
[07] 37 39
[08] 107 110 105 103 104 112 106 101 109 108 02
[09] 114
[10] 102 32 34 36 31
[12] 24
[13] 29
[14] 22
```

電信電話部門シングルオペ 50MHz 中国 1 位 JH4UTP

タイムチャート

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
QSO	57	51	42	30	16	16	-	-	17	15	27	21	22	81	66	18	20	32
累計			150			212			229			292			461			531

マルチマップ

```
111111111111111
0000000011111000000001111111111222222222333333333344444444445
123456789012342345678901234567890123456789012345678901234567890
*.*****.*****.*****.*****.*****.*****.
```

時間ごとの獲得マルチ

```
[21] 38 27 31 35 25 33 21 26 39 45 43 03 36 20 47 24 23 44 22
[22] 09 18 11 37 29 42 40 19
[23] 30
[00] 17
[01] 12 41
[05] 13 08 14 10
[06] 28 107
[07] 32 46 112 106 110 103 02 105 101
[08] 48 15 109
[09] 06 07 104
[10] 05 114 04
[13] 111
[14] 113
```

電信電話部門シングルオペ 50MHz 四国 1 位 JE5JHZ/5

タイムチャート

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
QSO	45	47	30	21	13	-	-	-	1	22	56	48	36	41	79	15	20	22
累計			122			156			157			283			439			496

マルチマップ

```
111111111111111
0000000011111000000001111111111222222222333333333344444444445
123456789012342345678901234567890123456789012345678901234567890
*.*****.*****.*****.*****.*****.*****.
```

時間ごとの獲得マルチ

```
[21] 26 03 43 27 06 14 12 10 37 35 41 31 36 38 33 40 44 25
[22] 39 45 19 21 18 24 20 22 42 11 29
[00] 09
[06] 30 107 112
[07] 106 104 103 105 07 101 15 13 02
[08] 110 04 23 114
[09] 47 48 34
[10] 08 05
[11] 17 16
[12] 109
[14] 108 113
```

電信電話部門シングルオペ 50MHz 北陸 1位 JM2FCJ/9

タイムチャート

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
QSO	43	24	26	16	21	3	-	-	13	21	28	18	33	21	24	12	19	34
累計			93			133			146			213			291			356

マルチマップ

```
1111111111111111
000000001111100000000111111111122222222233333333344444444445
123456789012342345678901234567890123456789012345678901234567890
*****.******.*****.******.******.******.******.*
```

時間ごとの獲得マルチ

```
[21] 08 07 28 09 30 03 05 02 06 04 19 35 48 11 29 31 46 45 47 25
[22] 37 44 41 36 12 10 15 20 13 21 26 18
[23] 17 42 22 27 24
[01] 14
[05] 33 39
[06] 38 43
[07] 40 16
[08] 112 110 103 101 107 104 105 106
[09] 23
[10] 34
[13] 109 114
[14] 113 108 102
```

電信電話部門シングルオペ 50MHz 信越 1位 JH0BQX

タイムチャート

JST	21	22	23	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
QSO	30	43	23	26	28	15	11	4	4	15	24	27	22	45	25	33	16	18
累計			96			165			184			250			342			409

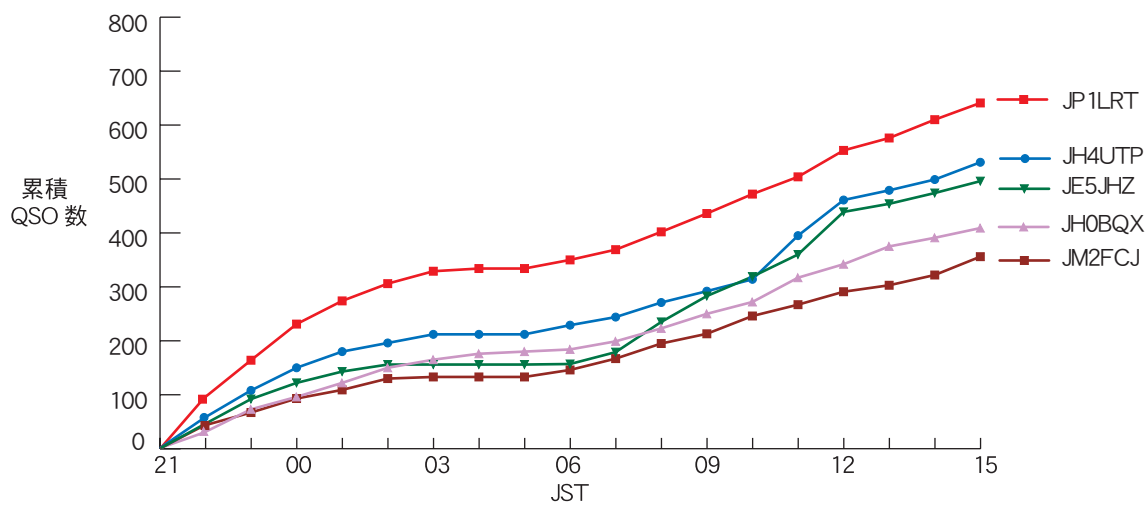
マルチマップ

```
1111111111111111
000000001111100000000111111111122222222233333333344444444445
123456789012342345678901234567890123456789012345678901234567890
*.*****.*.*.******.******.******.******.*
```

時間ごとの獲得マルチ

```
[21] 45 26 30 35 44 08 05 09 43 42 07 46 18 13 41 10 03 06 16
[22] 14 15 28 11 17 04 12
[23] 21 19 24 20
[00] 10 27 29
[04] 25
[05] 31
[06] 02
[07] 47 36 40
[08] 107 103 110 112 105 104 106 101
[10] 32 37 38 33
[11] 39
[14] 113
```

電信電話部門シングルオペ 50MHz バンド 入賞局の QSO 数推移



意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。文字の間違いを修正したり、語句の統一を行っているほかは記入された通りに掲載しております。ぜひ、2004 年も 6m AND Down コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想を書いていただき、写真なども寄せていただきたいと思います。

電話部門シングルオペオールバンド

7K2EUY: 今回初めてコンテストに参加しました。当初は徹夜をして得点を稼ごうと思いましたが、歳には勝てずに寝てしまいました。これから極力コンテストは参加していこうかと思いました。

7L2NOJ: 希望者でよいと思うがコンテスト期間内で交信局数、マルチ数をインターネット上で速報できるシステムがあると、見ている方も面白いし、盛り上がると思います(公平性には、非常に問題があると思いますが?)。

JE1TGL/1: 144MHz の参加局数急減には驚きました。

JF3CCN/3: 参加局数が毎年減っている...?

JF3QND: 50MHz はにぎわってましたが、1200MHz はほとんど聞こえず。

JH1CRL: 今回は前回に比べ賑わっていたように思えた。50MHz のコンディションが上げればもっと楽しめたと思う。

JI4EAW/3: 少し雨が来たものの去年ほどの悪天候でなく、運用

を楽しめた。

JI7OED/7: 日曜日だけ参加しましたが自己記録を大幅に更新し楽しみました。秋田では144MHz 以上は年々寂しくなっています。

JL2TPF/2: モービルホイップだけで運用しました。

JL7XBN/1: 電話部門にもシングルバンドがほしい。

JM4QNI/4: 移動運用を楽しく運用しました!!!

JO1GJB: 事務局の皆様には集計作業ご苦労さまです。今年も参加させていただきました。時間的に半分だけの参加でしたがログ提出させていただきます。ログ・サマリーの提出をメールで出来るのはとてもFBです。

JQ6UNY: 次回は頑張りたいと思います。

JR2FWN/2: 雨にも負けず移動運用で参加しました。E スポに助けられ、目標としていた200局・1万点以上を達成でき満足です。自作アンテナでどこまで飛ぶかを試しながら、短時間で多くの局とQSO できるのはコンテスト

の醍醐味ですね!

JS1MBH: 初めて電子ログでの提出です。

7K3HAJ: 数時間しか参加できませんでした。皆さん、大変お世話になりました。

JI8NLS: 4局ですが交信できました。

7N3NAG: 初の6m AND DOWN コンテスト参加です。

JF2FKJ: 今回は50MHz のコンディションが良く、E スポの発生があり、楽しめました。

7N4BGU/1: 6m のEs も開け徐々に楽しめたコンテストでした。

JG6VMO: 初めての参加でしたが楽しませていただきました。熊本では430MHz の局が少なく残念でした。今後もアマチュア無線の活性化のために協力させていただきます。

7N3AKG: 今回は久しぶりに100QSO に達し、25マルチと共にコンテストアワードを2枚とることができました。しかし、RTTY と SSTV の変更申請が間に合わなかったのが残念。

JO1HOS/1: VHF ではマルチが伸びませんでしたので、局数の割には点数がいきませんでした。
JN4KQV: 外気温 24 ,曇りのやや涼しい日でした。南の方が入感しませんでした。2m バンドは運用局がありませんでした。
JP1TFK/1: コンテストに参加したのは先日のテレコムパーティに引き続き 2 回目でした。ログシートに記入する際、マルチと得点の書き方に手間取ってしまいました。でも、とても楽しく運用できました。サマリーシートの記入が間違っていないか心配です。
7K4MSS/1: 500mH の山は寒かった。眠気には勝てませんでした!
JA1AUL/1: UM-1 × 6 で運用しましたが、全くの新しい電池ではなく、Rx 時 9V, Tx 時 8V に下がり、QRZ となって 2 局の QSO に終わった。cell は未だ使える、Rx としては充分、Tx 時の Volt 低下と cell の Life について未解決。将来は、充電電池にしようと考えています。
JH2GMK: E スポが出てくれたおかげで、貧弱なシステムに短時間でもなんとかマルチと局数がかせげました。
JN2XFC: 固定に仮設のモバイルホイップでの参加。福島県と交信できたのはオドロキ! 早くアンテナをあげて固定からバッチリ波を出したい。
JI1TY: 7月5日のみの参加でした。
JA1WWH: 参加することに意義があると思っています。

JI2MKP: 7月5日(土)21:00~コンテストに参加しましたが、夜中~7月6日(日)未明まで運用中、01:00以降05:00迄は、あまり交信できず、徹夜をするより朝早く起きて(05:00ごろ)起床~15:00迄運用すればよかった。今回は7/6 10:00ごろまで寝てしまった。

電話部門シングルオペニューカマー

JN3WXS/3: 暑い中がんばりました。

JO7FGZ/3: 移動してマルチオペの予定でしたが、仕事の都合でできなくなり、シングルオペで参加しましたが、不完全燃焼で終わってしまいました。

JA6LTX/1: 峠の頂上での運用でした。霧の中サルが現れ驚きました。

7N4XYK/1: コンテスト初参加でした。次のFDもがんばるぞ!

7N4UWM: 電子ログで提出したいのですがPC初心者のため、WEBの説明だけでは、今一わかりません。初心者用の説明を望みます。

JJ5BXI/5: 6mでもモバイルホイップで北海道とつながって良かった。

JQ2EAN/2: たくさんできておもしろかったです。

7N4XLD: 初めての参加でしたが、短い時間で多くの局長さんと交信でき、とても楽しかったです。

7N4VZO/1: 一人で移動運用、コンテスト参加と初めてのことは

かりでした。又、山中に一人で車の中に泊まったのですが恐ろしくて寝れなかったです。また、がんばります。

電話部門マルチオペオールバンド
JA7YUD/7: 来年も是非がんばりたい。430MHzはほとんど聞こえず残念。

JE2ZSG: 今年は初めてのクラブとしての参加になりました。FDはがんばるぞー!

JARL NEWSには提出期限が7月31日となっていたように思うのですが...

JI3ZJT/3: 2回目の参加です。昨年の自己記録を上回り、満足しています。430MHzが寂しかった気がします。50MHzはコンディションに恵まれて、楽しかったです。

JM1ZJI/1: 朝、小雨の中で設営開始。50MHzは午前中は北も西も開けていたようです。

電信部門シングルオペオールバンド

7L1ETP/1: 今年は途中で雨が降るなど涼しい6Dでした。

7L4SCQ: 部分参加でした。Phoneも運用しましたが、CWのみの申請です(Phone分は、0点にしてあります)。なお、430MHzにおいてRig上コンテスト番号は13Lにも関わらず、誤って13Mで送付してしまいました。144中心に運用していたので、430にQSYしても同様に送信してしまいました。1つのコンテストでコンテスト番号が変わるのは、間違えやす

いですね。以後、気をつけます。

JA0QBY: E スポがでましたので、楽しめました。

JA1TCF: フル時間参加出来ませんでした。

JA1XEM: アンテナの調整不十分での参加です。

JA3ATJ: クラブで移動運用を計画していましたが、天候が怪しいので中止しました。結果的には、移動可能な天候でしたので残念でしたが、代わりに家から個人で参加することができました。

JA5YDE/5: お世話になります。毎日、毎日、雨でじめじめと気分まで減入りそうです。

JA6NWC: 6m で早朝から開けてとても楽しいコンテストになりました。

JA7KJR/7: Condx が VY FB でしたので、まずまず QSO でき、楽しめました。1day WAJA に隣りの青森だけできず残念な思いをしました。

JA9ZRF/0: 標高が高い所でしたが(2180m),終始雲(濃霧)の中でした。そのせいか 2.4GHz が使えい物ならず大変な誤算でした。

JE6MIS/6: 毎年 6m で参加していましたが、今回はドネーションが発表されていたので、初めてマルチバンドで参加しました。設営は大変でしたが、当日は大変コンディションもよく楽しめました。

JF2QNM: 結構楽しめました。コンテストレコードをホームページ上で公開してくれませんか?過去の成績は全てキャンセルし、今年から新たに掲載すれば、また参

加者が増えるのではないのでしょうか?

JF3IYW/3: 土曜日の朝は雨が激しくコンテスト参加を見合わせようかと思いましたが、昼前に雨がいったん上がったため、移動運用にてコンテストに参加しました。

JH0NVX/1: 短時間の参加でしたが、6m のオープンもあり楽しめました。

JH2NWP: 例年のごとく、食事と睡眠は、通常通り取りながら参加しました。

JH4JUK/4: スタートが遅れ、夜間は局数伸びず。日中は小規模ながら Es 発生し、そこそこ取れました。

JH7PKU/0: コンテスト委員会で JARL 主催コンテストの歴史記録をぜひ管理して公開していただきたくお願い申し上げます。

JH8KYU/1: 徐々に自宅にアンテナを設置して短時間ながら参加しました。最上階なのでモバイルホイップ+ QRP でも良く飛びます。

JH8SLS: 徐々に良いコンディションで楽しめました。

JH1CUP: 2400MHz 帯以上においてもマルチプレイヤーは都道府県支庁であるべきと考えます。現行の市郡区マルチはコンテストのゲームバランスを歪めるばかりか、遠距離通信への情熱を阻害するものです。

JJ1JJD/1: コンディションも良く、6m でこれほどマルチが取れるとは思いませんでした。目標の得点を達成でき満足です。天気

は良くありませんでしたが、楽しく運用できました。次回もがんばりたいと思います。

JK1LYP/1: 6m のコンディションはよかったです。2m と 430MHz がいまいちでした。初めてのマルチにしてはまあまあかな。

JK1XDB: 2400MHz CW バンドは無線 LAN とされる QRM のために弱い信号が受信できない状態です。今回も 2400MHz は FM バンドの F2 による QSO のみでした。

JK2EIJ/0: 設営・撤収時には風雨が止んで助かった。

JM1LQI: 寝坊して山に移動できませんでしたが、固定からでも意外と呼ばれたので、結構楽しめました。

JN2UIY/2: 梅雨の時期 土曜夜は雨にたたられ移動地で全 BAND の ANT 上げずに...そのおかげで深夜は帰宅でしっかりと寝ることが。日曜日は雨も上がり 50MHz 中心に楽しめました。コンディションの把握がいつもながら上手くつかめずでしたが VU の TEST を楽しめた週末でした。

JN3ANO: 各局 交信ありがとうございました。

JQ2RMA: アンテナが GP でしたが、それでも 34 局交信できました。

JP3DVP/3: 個人コールサインが本人でなく他人の声で聞こえる(マルチオペ)。いやーな思いです。コールサインと言うものは名前と同じだと思ってますが...

JH1AWN: 50MHz は E スポが

発生してましたが、それより上のバンドでは国内 DX が開けずマルチが増えませんでした。それにしても、十分にコンテストを楽しむことが出来まして有難うございました。

JA6FOF/6: 50MHz ワイヤアンテナではビームアンテナに勝てません。来年は八木でやります。

JA1KWF/1: 常置場所(小金井市)からの参加が多いのですが、久しぶりに、自宅に建てた ANT から運用してみました。

JE0DDK/0: 今年は仕事を休めたけれど地域の行事に参加しなければならぬため、AM10:00 までしかコンテストに参加できなかった。朝もう少し E スポがでてくれたらと思ったが残念。でも自分では満足できる結果でした。

JA3TVQ/3: コンテスト当日終了の 3 時間前までアンテナ造ってまして昼飯食べて近所の小さい山にて 2 時だけの運用となりました。CQ だけを出し続けやっとなり難うございました。

電信部門シングルオペ 50MHz バンド

7M4MON: コンディションは良かったのですが、参加時間が取れませんでした。

JA1ECG: 15 時終了とゆうのが移動局にとっては大変都合ですね。

JA1OZK: 50MHz 帯では、空中線電力別の H, M, L, P の参加部門を検討して欲しい。HF と同じように電力の差が得点差にな

ると思います。提出ログ Cabrillo や ADIF でのご提出も検討して欲しい。

JA2QVP: 集計ご苦労様です。比較的コンディションは良かったみたいですね。しかし、4, 5, 6 エリアがあまり聞こえずマルチが増えませんでした。

JA5FFJ: 今年は Es による交信が多くなりました。

JA5XOZ/5: 日曜朝から約 5 時間の参加でしたが condx に恵まれ楽しめました。

JA6EOD: 少しの時間の参加でした。

JA7UDE: 短時間でしたが、E スポが出ていて楽しめました。

JA7VHJ/7: Es が出ていました。DP ANT での参加でした。

JA8AJE: 日曜日 8 時前後から急に呼ばれ始めました。特に珍しいマルチでもないのに、呼んでいただいて有難うございました。

JA9BSL/9: 今回は自作の 3 エレクウッドで参加。自作の腕もちょっとは上がったかも。天候は今一つでしたが北は北海道から南は沖縄まで、小笠原も含めて 50MHz の醍醐味を満喫できました。

JA9IAX/1: 今回は時間が無く、短時間のみの参加でした。

JE1HJA: ネットログのような形でログをリアルタイムにアップして、現在の自分の順位が見えるような仕組みがあると面白いかもしれぬ。

JE2EZA: 毎年楽しみにしているコンテストです。

JF1FFF: 集合住宅 1 階のベラ

ンダアンテナより運用。運用時間が短かったが、伝搬状態は良かった。

JF1JDG: このコンテストの場合、出力の低いものは不利である。何とかならないか。出力別のクラスにするなど。

JF1NDT/1: 日曜の朝、移動に手間取り出遅れてしまいました。

JF1NHD/8: 集計ご苦労様です。E スポが出て楽しめました。

JG1CYE/0: わずかな時間でしたが参加できました。

JG4DDN/1: 短時間の参加のみとなってしまい残念!

JG5MTP: まずまずのコンディションで FB にコンテストを楽しみました。コンテストの集計ご苦労様です。初めての電子ログの提出です。ちょっと苦労しました。

JH0SJJ/0: 久しぶりのコンテスト参加でした。

JH1MTR/4: E スポで楽しめたがお手軽移動の限界も味わう。やはり beam でないと... が実感でした。

JH4FUF: 来年も、是非とも参加したいです。

JH6QIL: 開始から最高のコンディションでした。

JH6WHN: 当日の夕方、雨の合間に 6m のアンテナを上げて、久しぶりのフルオペレートでしたが疲れで 0 時にダウン。6 時過ぎまで爆睡してしまいましたが、十分楽しめたので満足できました。

JH7BEO/7: 朝の 6 時から移動しました。強烈な E スポのおかげで徐々に 100 局以上と交信できました。非常に満足していま

す。

JJ1ALP: 昨年に引き続き、C50に参加です。自己記録更新が目標でしたので、達成できて嬉しいです。CONDXも良く大変エキサイティングなコンテストでした。

JJ1IDW: ほどほどにEsが開け楽しめました。電信部門ではSSBバンドでのCWのQSOも有効とすれば、もっと点数が伸びると考えられます。

JK8PJN: 予想外の好コンディションと好天に恵まれ、予想外の高得点を記録できました。根室支庁のマルチも貴重だったかと思えます。

JM1LRQ: 今年はEスポで広範囲にQSOができました。

JN1NCB/1: 本コンテストは、開始日時を土曜日の午後12時(それより早くても良い)に変更すべきと提案します。(週休2日が一般的になっている昨今)土曜日みの参加も可能になり、参加しやすくなると思います。開始時間が土曜日の午後9時からというのも今となってはおかしな設定であると思います。

JN7ELL: 西日本が比較的開けたので楽しめました。

JO3AGQ: 2002年12月開局しました。初めての6m AND down コンテストに参加しました。

JQ1DSK/0: マルチCWにて参加しましたが144,430MHzの局数が激少だったので50MHzCWでログを提出します。

JR0GNY: ログシートはHCTデータを独自の方法で変換処理し

ました。

JR3NDM: 集計ご苦労様です。久しぶりに50MHzのみの参加でした。

JR4CZM/2: 急遽、自宅に上げた短縮GPからでした。時間のある時にワッチしての参加でした。いつの日かまた移動して参加したいと思います。

JR4QPD/4: 6日の11時台のコンディションがとても良かったです、ただしQRMでなかなかピックアップできず、呼んでいた局にはご迷惑をおかけしました。

JR8MCR: コンテスト集計ご苦労様です。

JH7CJM: 自分でCQを出すと全くコールが無く、呼びに回りスキッターの浮き上がった瞬間のQSOで稼ぎましたが思うようにはいきませんでした。

JF6OVA: 風邪をひいて未だ完全になおっていない。移動したかったが、6日の仕事もきつかったので、とりあえずホームから参加しました。とてもいいコンディションだったので残念です。次のフィールドデーで楽しみます。

JH1VIG: 仕事の合間のコンテスト参加です。

JA3BKP: 参加者の減少している中、移動して徹夜で頑張っておられた方もかなり居られたようでその熱意に敬意を表します。

JJ7FZC: ちょっとだけの参加でした。

JH0CHR: コンディションに恵まれ、マルチプレイヤーが稼げました。関係者皆様のますますのご

活躍をお祈り申し上げます。

JA0EKI/0: FBなコンディションでした。

JA6DNV: Esが出た間に他のエリアとQSOできて幸せでした。一昨年よりも多数稼げたのでコンテストをした感じでした。JD1YAB局が安定して聞こえていたのはおどろきでした。もっと50MHzがにぎわうといいですね!

7N1DVK: 50MHzの交信は聞くのも送信も初めての事で新鮮でした。

JL4MPH/4: CONDXも良く、今までにない交信局数でした。楽しく参加できました。強風のため2mのANTは設営を控えました。**JE1BMJ:** 電離層E層領域のコンディションが良く、JA8やJA6の局に勝てそうにないので諦めて洗車でもしていようかと思ったのですが、それくらいでリタイヤするくらいなら出ない方が良かったかと思ひ直しフル参加しました。

電信部門シングルオペ 144MHzバンド

7M4KSC/1: 半日の運用でした。

JA1VVH: 思いもかけず多数の局と交信できたので、ひさしぶりにエキサイトしました。

JA2BCQ: 430MHzは聞こえませんでした。

JA6SRB/6: 午後2時前からの参加でしたが、できるもんですね。

JE1KFX: 5日はFAIが好調で開始直前に4~6エリアと交信。コンテストに期待して真西ピー

ムでマルチ重視に開始するも、結局 FAI は 1 局のみで非常に残念。コンテストに参加された方で気付いていた局はどれくらいいるのだろう。6 の移動局が 2230 頃まで FAI で強力に入感しており、コンテスト参加局がもっとアンテナを向けてくれれば多数交信できたと思像している。5 日の北方面へのコンディションは最悪、翌 6 日は午前中に BV, JR6 の ES がオープンするも、コンテスト参加者は無し。非常に残念。ここ数年来、2m で ES が開いた記憶が無いのですが如何ですか？> 委員会さん。茨城の北部の固定、ましてや電信では流石に厳しかった。局数 150 局を目標にやったが、結果 1 局届かず。途中の ES でコンテストから離れたたり、寝たりで 3 時間くらい浪費しました。余談だが、2m での仰角の効き目は凄い。西方面は仰角ありが有効、北方面は仰角無しが有効な感じ。少々誇張気味ではあるが、カスカスの信号が浮いてくる。

JE3ORT: 集計ご苦労様です。

JF2FIU: 今年は移動できずに固定から少しの時間 QRV しただけにとどまりました。

JG1HUF: 生涯、2 回目のコンテスト参加。

JH5LYW: お世話になります。毎日、毎日、雨でじめじめと気分まで滅入りそうです。

JJ1LRD: 固定から 11m 高のグランドプレーンでしたので、このバンドとしてはハンディキャップを持った感じの参加でしたが、まずまず楽しめました。

JM6FMW: 局数が少なく苦労しました。

JR0ETA/0: 集計ご苦労様です。移動地を誤りマルチがさっぱりでした。2 日目の 10:00JST には断念し撤収下山してしまいましたが野外で気持ちよく過ごすことができました。

JR1WYV: 普段は 2m で電信が聞こえる事はめったに無いが、コンテストには多くの局が参加するのには驚いた。当初は電信・電話での参加を考えたので電話での交信局はチェックログで添付した。

JH2QLC: 2m で CW でのオンエアは楽しくできた。コンテストでは多くの局がオンエアするが、普段オンエアする局は少ない。

JR2TRC: 結果はどうあれ、参加のみ！

JK1DMT: 今年も昨年同様、2m の CW のみで、自宅からのんびり参加しました。

JE1YQL: 今回は参加時間が伸びたことと卓上型から直下型へプリアンプを切り替えた成果が出ました。但し、それによる混信や抑圧の度合いも便乗してしまったが、交信数 UP につながりました。残念なのはエレキーが壊れて交信に不具合があったことです。

JH6KDY: 2m は出られる局が少なかったようでした。又、参加予定。

JJ4CDW/4: 今回は、夜から山に移動して参加しましたが、終日雨と霧でコンディションはいまひとつでした。参加各局、お疲れ様でした。

JA7UQB: 運営ご苦労さまです。短時間の参加でしたが、提出します。6m は Es も出て FB でした。TU 73

JO1QGK: 途中で寝てしまった！！

JA7NT/1: 今年も参加。7 から始まる CALL が少ないです。

JS1PWV: 平地からの運用でしたが、遠方と QSO 出来ました。

電信部門シングルオペ 430MHz バンド

JA0EOK/1: のんびり楽しめました。

JA1IVL: どうも夜は眠くてやっと一時間 QRV、年を取った証??。このロケーションで、このアンテナで 100 局以上と QSO 出来、満足。

JA3EPI: 次回も参加します。

JJ1OWT/0: 今回も昨年同様 0 エリアからの参加でした。

JK1NSR: 朝からの運用でした。

JL3IVX: フォックス用の八木アンテナで運用するも昨日よりの雨で SWR が悪く、またマンションの立地条件が悪いので局数は増えません、移動運用を考えておりますが実験は... 軍資金が無く寂しい限りです。

JQ2BJK: 雨天で出鼻がくじかれ移動を止めてしまいました。

JR2SCJ/2: 4 時には設営完了、暗くなってからコンテストが始まるまでラジオのナイター放送で暇を潰すのが結構しんどかった。皆さん明るい内に設営を完了すると思うので、あと 1 時間でも 2 時間でも早く始めて終りを 1, 2 時間

繰り上げると撤収・帰宅（つまりは翌日の仕事ね）が楽なのではないでしょうか。

JA6PVO/6: パワー H~P があるのだから賞もパワー別に出して欲しい。KW 局と 10W 局では、大人と子供。勝負にならないと思います。

JE7ENK/7: 天気の崩れが多く、設営や撤収がスムーズにいきませんでした。

JK2BAP/2: 集計御苦労様です。いつもコンテストを始めると気になるのが、ライバルの存在。今回も地元の 1 局がどうやら同じエントリーの様でした。良い意味で緊張感が持続し、この局がいたからこそ、ここまでガンバレタのだと思いました。

JJ2SQJ: コンディションが悪かったのでしょうか、あまり聞こえてきませんでした。フィールドデーコンテストでガンバリマス！

JA9RPU: 自宅から屋根の上のアンテナ（GP+15 エレウエーブハンター）では聞こえず、飛ばず。たまに FM/SSB もワッチしましたが参加局が少なく、さみしいです。

JA9XAT/9: WX は曇りで、山頂はガスの中。コンディションが悪かった。

JH2FSE: 今回は急用が出来、十分参加が出来ず残念であります。

電信部門シングルオペ 1200MHz
バンド

JE2HVC: 参加局が少なく、ピーコンのように CQ を出してばかり。疲れしました。

JR7RJZ: 1 局の QSO でエントリーします。

JF1CQH: ご無沙汰です。今回から 10W 運用（1200MHz）が出来るようになり、フルタイム運用を目論んでいたのですが、残念ながら所用のためラスト 1 時間の参加となりました（ログを見たら昨年は QSO 無しでした。Hi）。

JA1DBG: さすが 6m AND DOWN、他のコンテストと異なって 1200MHz CW の CQ を聞くことが出来ました！ FB でした！

JH5AEN: 交信相手がなかなか見つからない。

電信部門シングルオペ 5600MHz
バンド

JA1LLX/1: あいにくの天候、霧の中の運用はマクロウエーブにとって辛いかと思いましたが、結構（？）飛んでくれました。

電信部門シングルオペシルバー

JH3TCM/3: 50MHz のマルチが伸びず苦戦、昨年（QRP 部門参加）を下回る成績になりました。

JK1SDQ: 今年は旅行が入ったために、運用時間が短くなってしまった。

JA1VE: 短時間参加でした。

JA3AA: 50MHz 帯のコンディションが良く、多くの局と QSO が出来て喜んでます。今後益々のご盛会をお祈りします。73

電信部門シングルオペ QRP

7L2VVI: 初めて参加しました、来年もがんばります。

7L3DNX: QRP での運用で、時

間はわずかでしたがなんとか参加できました。

7L3EBJ: 集計ご苦労様です。QRP にも是非シングルバンドでの参加部門の設定をご検討下さい。

JA1KEG: 次回も QRP で参加したい。

JE0IBO/1: 自宅からの参加でしたが、まあそこそこの結果でしょうか。UHF 帯の参加者が特に少なくなっているのが気になりました。

JH1MZG: 50MHz も時々 E スポが出て、6 エリアとも交信でき、楽しみました。

JH2OMM/QRP: 楽しめました。集計作業、よろしく願います。

JI1HFJ: 50MHz では大阪、奈良、鳥取と続けざまに呼ばれ、びっくりしました。5W でもコンディション次第と改めて感じました。各局、どうもありがとうございました。

JI3OYM: 集計担当その他世話役の方ご苦労様です。数年ぶりに復帰しました。

JJ2VVH: 電信部門初参加です。6m といえどもコンテスト中は、土日の 7MHz のように込み合っていました。CW フィルターの必要性を感じました。次回のフィールドデーコンテストにも参加したいと思います。

JK8NLB: 50MHz CW はコンディションのピーク時には CQ を出す周波数がないくらいにぎわっていましたね。おかげさまで楽しい休日のひとときを過ごすこ

とができました。関係者各位の活動に心から感謝します。

JM7TKK: 朝から Es が出て FB でした。飛び飛びに 5 時間ほどの運用でしたが、それなりに楽しめました。1Day AJD を目指しましたが、とうとう 0 エリアが取れませんでした。

JN1MKZ: 次回もがんばりたいと思います。

JR1NKN/1: 所用で 3 時間弱の参加でした。またがんばりたいと思います。

JR3UIC/3: 自宅の固定局 (1,000W 免許) の 1/200 のパワーで、コンテストに参加しました。

JR5EHB: 50 メガがオープンして 5W でも楽しめました。しかし 2 エリアには届かず。

JR6GUI/1: 短時間の参加でしたが、ちょうど Es 発生と重なり割と楽しめました。最近コンテストではパソコンに頼っているので、ちょっとパソコンの調子が悪くなるとうろたえてしまう自分が情けなかったです。紙と鉛筆、縦振り電鍵でやっていた頃の元気は何処へやら...Hi

JR7HOD/1: 初めて QRP 部門に参加しました。短時間の QRV です。

JA6UG: コンディションまかせなので思うようには稼げませんね!!

JA1SIM: バンド別 QRP 部門があればと思います。QRP でも 9 エリア以外全エリアと交信できました。実質 6 時間程度の参加でした。

JH0SPE/0: QRP 専用あるい

は QRP 優先の周波数帯を各バンド 5kHz で良いので設けて欲しい。

電信部門マルチオペオールバンド 7L1FFH/7: はじめての 7 エリア移動でした。50MHz は開始当初から 6 エリアが開けており FB なコンディションでした。でも、大栗田の 1 エリアが遠いですね。

JI3ZOX: 前はクラブ員と共に参加して第 3 位に入賞し、各局と祝勝会で盛り上がりました。今回は寂しく、クラブ常置場所にて当局のみの参加となりました。集計ご苦労様。次回も参加したいと思います。

電話部門シングルオペオールバンド

7J3AOZ: 今年は、昨年よりは参加局数が増加していたように思います。

7K1PEO/1: コンディションが良いコンテストでした。冷やかしか参加が減って、真面目に参加している局が多いと感じがしたコンテストでした。

7L3IUE: 楽しいコンテストを企画していただきましてありがとうございます。楽しめました。

7M4BZX/1: 集計ご苦労様です。局数は少ないですがログを提出しておきます。

7M4RJB/7: とてもコンディションが良く、楽しかったです。ただ、全く 8 エリアが聞こえなかったのが残念です。

7N4JQJ: 運用時間が短かったので、次回はフル参加したいと思います。

ます。

JA0SOO: 参加局が少なかったように思います。

JA1FPV: 6 メータがやっとのダイポール、バランも許容周波数外のものを使ったので SWR が 3 程度、出力も半分以下に下がってしまうなど準備不足でした。次回は反省してアンテナを整備します。

JA1IQK: このコンテストらしく 50MHz の E スポで西方面とナンバー交換ができ、楽しく参加した。2400M 以上もやりたいが、周囲の建物と自宅アンテナ高さより常置場所ではあきらめている。

JA1IZ: 次回もがんばります。

JA1OQ: 今年も楽しく参加することができました!

JA1PTO: 今年もクラブスラッシュ上位入賞を目標にしています。

JA1QEU: フル参加出来ず残念でした。

JA1RRA: 初日は元気が出ませんでしたでしたが日曜日は頑張りました。楽しめたコンテストでした。

JA1STY: 短時間の参加でしたがそれなりに楽しみました。

JA1SWB: 参加局数アップになればと思い、でてみました。Hi

JA1XRH: 睡眠も十分取れたはずなのに、昼食後は昼寝までしてしまい、終了間際の貴重な時間帯を無駄に過ごしてしまいました。

JA3IEZ: 次回もがんばりたいと思います。

JE1HMC: 今回初めて当コンテストのログを電子データで提出します。

JE1REU: 6m のコンディションがいまひとつだった。

JF2OZH/1: 11 階のベランダに 50~430MHz の八木を仮設して参加しましたが、90 度しか回転せず NG でした。

JF3PLF: 久々に自宅から楽しむコンテストでした。昨年の得点を超えることと、クラブ対抗部門に貢献することを目的に、頑張りました。

JF4CZL/1: 集計ご苦労様です。今回も短いコンテストナンバーでスマートなおオペレートが出来ました。今後も短いコンテストナンバーであることを希望します。今回は体調不良と重なり、満足のいく結果ではありませんでした。また挑戦します。サービス頂いた方、有り難うございました。

JG1HTA/1: 7 月 6 日、朝から参加した。奥武蔵グリーンラインは、一日中霧に包まれて涼しかった。昼前に E スポで 50.5MHz 付近まで切れ目なく入感し、結構楽しめた。

JG2KKG: 今年は設備の整備が間に合わず、メインの 50MHz に出れませんでした。

JG5WLV: マルチを稼ごうと思ったら移動運用をする局が多いと思うのですが、この時期まだ梅雨明けしてません。もう少し時期をずらせばと思います。あとほんの 1 週間ぐらいで梅雨は明けると思うのですが、いかがでしょう。

JH1DHV/1: 今回は頑張っておアンテナを今までより少し高くしてみました(6mh 8~9m), 結局交信局数は伸びませんでした。

た。運用能力が低いのを実感します。皆さん良くて皆さんの局と交信できますねえ。

JH1JGZ: 短時間しか参加できませんでした。

JH1QXP: E-sp が 50MHz で発生して久しぶりにエキサイトしました。

JH2CMH: 6m のコンディションが良く、楽しめました。

JH4UYB: 久々の E スポで興奮した。

JH6FTJ/6: 電話部門も各バンドあるといいですね。集計ご苦労様です。

JH6WKF: 50MHz は少し楽しませてもらいました。

JH7VVR/1: もう少し部門を増やしてはいかがでしょう。

JH9UJB/1: 仕事の都合でちょっとだけの参加でした。6m は全国が開け、短時間ですが楽しむことができました。

JI1BFD: 初めて電子ログで提出します。6m の開きがありましたが、運用時間が制限(家庭の事情)されてしまい 残念でした。

JK1JHU/1: 久しぶりに 6m AND Down にシングルオペで参加しました。50MHz がかなり開いて、面白かったです。他のバンドはマルチが伸びませんでした。

JK2VOC: 50MHz のコンディションが最高で大変楽しめました。

JL7AIA: 家族サービスの合間に少しだけ出ました。

JM1LAW: 集計ご苦労様です。6m は 6 も 8 も同時に開けてたようで、どっちに向けて良いのか迷

いました。

JM1TDG/1: 集計ご苦労様です。開始直前に 50MHz の SWR が上がり、かなり意気消沈。散漫になってしまいました。

JQ1BTP/9: 移動しないとスコアが伸びませんね。

JR1CCP/1: 50~430 の 3Band で楽しく運用できました。6 日午後に用事があり、昼過ぎ早々に撤収してしまいましたが、今までの局数・スコア・マルチを更新することができました。最初の数時間が勝負ですね。夜は寝てしまいましたが...

JR1LQK: 去年は発電機の不調などにより、リアイタを余儀なくされた 1900m の山に再度挑戦。今回は 20kg もある ET800 を担ぎ上げた。全体としては順調で自己ベストを更新できた。

JR1MRG: 今年も昨年同様 50MHz に E スポが発生し、そこそ楽しめました。

JG8SIS/8: 相変わらずの少得点 Hi 久しぶりの 50MHz にて QRV このコンテストのおかげで楽しませていただきました。6 日 11 時台は 1 時間空振りに終わりました。宜しくお願いします。

JL1VWL: 50MHz は E スポで楽しかったです。

JA8IBU/8: FB なコンディションでした。久しぶりに 144MHz にも QRV しましたが、JA8 エリアだけかもしれないが、144MHz に出てくれる局が本当に少なくなり、驚きました。

JA7FEX: 144MHz はあっという間に ON AIR 局がいなくなっ

た。50MHz は短時間に E スポ楽
しめマルチも増えた。

JA1OGZ: 2.4GHz が思った以
上交信出来ずでした。

JA7MVI/1: 50MHz がイマイ
チでした。

JH9VJW: 50MHz のオープン
時は仕事でマルチが増えませ
んでした。

7L1PNG: 第 3 級になり、多
バンド、多モードで運用するよ
うになりました。ログ管理にパ
ソコンを使っていますが電波障
害対策に苦労しました。無事に
印刷までこぎつけました。

JH1EMH: 楽しい時間でした。

JE1SLP/1: 昔に比べると参
加局数が少なくなったような
気がします。

JA1DTS: 短時間(約 50 分)
の参加でしたが楽しく QSO
しました。次回も参加します。
集計作業ごころうさまです。
リグのトラブルで 2 バンドの
みの参加でした。次回に
がんばります。

JJ1BDX/3: ちょっとアクテ
ィビティが低いという気が
しました。

JG1IEB/1: アンテナを忘れ
てしまい局数ダウンでしたが、
マルチアップで得点は昨年を
上回りました。

JE3LGJ/3: 局数は減って
いますが、参加しているメン
バーのあたたかい気持ちが
伝わってくるような気が
しました。TNX

JH4WBY: 雑用に追われ、数
分だけの参加でした。

電信電話部門シングルオペ

50MHz バンド

7K2GMJ: 今年も参加させて
いただきました。短時間しか
時間がとれずたった 30 分
の参加でした。

7K4TSJ: 伝播状況が変化に
富み、大変でしたが楽しめ
ました。

JA0AAQ: 1 時間ほどの運用
でしたが、Es は終わって
いました。

JA1DKU: 2 日間ともコン
ディションが良かったので予
想外に交信局数が増えまし
た。全体的に運用マナーが
よくなったようだ。ハイパ
ワーでがなりたてる局がほ
んどいいな。ただ、100w
超の局で移動している局と
開始直後に周波数帯を守ら
ない局がいたが PR の仕方
としてルールを守ると言っ
ただけでなく、こういくこ
とに注意をしましょうと具
体的な事例で PR して欲し
いと思います。

JA1OVD: (1)ALL JA と同
ルール採用(24 時間、電力
別クラス分け)(2)移動・固
定別種目(山に登らないと勝
てなくては、固定局参加は
減少)

JA2JTN/2: E スポも適当
に発生しコンテストを楽し
みました。

JA5DEU: 来年は移動運用
したい。

JA5MAJ: これからもよろ
しく!

JA6JCL: 仕事の都合で短
時間の運用でした。コンデ
ィションは最高に良かった
だけに残念でした。多くの
移動局に感謝いたします。

JA7ASI: 6m AND DOWN
コンテストに 4 回目の参加
で一番

の成績? コンディションの
せいだからみんなも良いだ
ろうから順位は、あがらな
いだろうな。

JA7KPI/7: 今回は 1 時間
半にわたって CW で呼ばれ
続け、徐々にいい思いをさ
せていただきました。その
わりに局数が少ない?...
これが実力なんです(^_^)
JA8IJY: コンテストアワ
ード申請のため。

JA9RBZ: 地域の行事で最
終 1 時間だけの参加です。
家からは 8 エリアしか開
けませんでした。

JE4ABN/4: コンテスト
では E スポによる 1 エリア
パイルを久しぶりに楽しむ
ことができました。

JE5JHZ/5: 集計ご苦労
様です。JE6CUC/6: 悪天
候のためアンテナ設置は
苦労したが、コンテスト
中は涼しく快適だった。

JE6DND/6: 天候には恵
まれませんでした。そこ
そこ呼ばれて楽しみまし
た。

JF2WOW/2: 天候には恵
まれませんでした。2 日
目にコンディションが開
けたので、十分楽しめ
ました。

JF3IPR: 2 日目の午前中、
コンディションが上がり
楽しめました。

JF3VKM: 所用で今回も
移動できず、自宅から簡
易移動用リグのテストを
兼ねて 10W で出ましたが、
ちょうど Es が開けている
時間だったので 1, 7, 8
方面と多く交信でき、
この無線機もまだまだ
使えるなと思いました。
時間をみつけて移動に行
きたいと思います。

JF6EZY: 次回も頑張り
ます。

JG2WIL: 長く続けるように頑張ります。

JG5DHX/5: Thanks for all, see you next contest.

JH0NEC/0: コンディションもよく楽しめましたが、もう少し局数 JH2OJS/2: コンディションがよすぎて山の上からは取ってもらえないことが多く大変でした。

JH4IJG/4: QRP が多いようです。QRP シングルバンドがあれば面白そうです。

JH4UTP: 久々のフルオペ。FB condx に恵まれ楽しいコンテストでした。
<http://member.nifty.ne.jp/jh4utp/>

JH5UPI/5: 50MHz は E スポも開いて、賑やかなコンテスト楽しめました。

JH6MHO: コンディションもまああそこそ楽しめました。このコンテストでの小笠原とのコンタクトは初めてです。

JH7ELZ/1: 気が付いたらコンテストが終了する直前でした。

JH7IPR/6: スタート直後、午前中、昼頃と1エリアが3度開いたので楽しめました。

JH8BHP: 昨年に続いて、2回目の参加になります。

JH8SIT: 2日目早朝よりコンディションがよく、とても楽しめました。

JH1JCI: コンテスト開始時に周波数帯区分を守らず 50.22MHz 付近で出ている局がいた。ルールくらい確認すべき。21時の前から CQ コンテストを出していた局がいたが、時計を正確に合せておく義務が有る筈。

JH2GVL: 今年も楽しめました。

JH3KHN/2: 集計ご苦労様です。今年コンディションが良かったですね。久しぶりに沢山のマルチプライヤーを埋める事ができ、自己記録を更新できました。電子ログ提出は添付ファイルによる提出は不可となったのでしょうか？規約ではテキストメールのみ可能と読みとれるのですが、「所定の様式で作成したデータ」からのジャンプ先である JARL の web「JARL 主催コンテスト電子ログ提出要項解説」には添付ファイルとして送信とも書かれています。明確明快な規約の掲示と更新をお願いします。

JH6CUK/1: 個人では初めての 6m and Down 参加でした。小さなアンテナの割にはコンディションに恵まれ楽しめました。

JH7UGJ/7: 例年になく涼しく、バンドコンディションもまずまずでした。移動地で SWR が高くなり、いろいろやっているうちにあっという間に暗くなってしまいました。8・9 エリアが全くとれなかったのが残念でした。

JH2VQR/2: 短時間ですがモバイルからの参加でした。久々の参加で楽しめました。

JH3HLP/3: コンディションが良く、楽しめました。

JH4USZ/1: 良いコンディションに恵まれ久しぶりに楽しめました。アンテナが2本欲しかったなあ。

JL2BSA: 時間がとれなくて、中途半端だった。

JL2HIW/2: 担ぎ上げをしよう

としましたが、悪天候のため車からの運用となりました。

JL2TYH/2: 当初狙っていた移動地に先客がいたため、急遽別の場所を探索。コンディションの変化が激しく、追いつけませんでした。

JL4BLD: 移動運用で参加できなくて少し残念でしたが、コンディションに助けられ楽しいコンテストになりました。

JM1GII: 局数が伸びずに残念でしたが、そこそこ楽しめました。

JN1NOP/6: コンディションが良かったのですが、飛行機の都合で12時にQRT。もっと遅い飛行機にすれば良かったかな？残念。沖縄って「電波が集まる所」というイメージを持ちました。

JN3IEC/2: もっとコンテストをにぎやかにしたい。

JO1DFG/8: 今年は4年ぶりに楽しめました。

JO1VVT: コンディションが良く、楽しめました。次回もやりたいと思います。

JP1LRT: コンディションに恵まれた楽しいコンテストでした。

JP1XLU: 移動用の機材を準備して筑波山まで出かけましたが、寒くて寒くて...すぐに帰って自宅からの運用となりました。まさか防寒具が必要とは思いませんでした。翌日も早くから用事があった為、運用はごく僅かでしたが、楽しかったです。

JP3OTA: 5日はコンディション余りよくありませんでしたが、翌6日は、朝早くから6mが開けておりました。その後も開き続

け、初めて 1day AJD を達成出来ました。反面、混信が激しく、対策も必要です。都合でフル参加できませんでしたが楽しめました。50MHz の面白さを再確認でき、6D コンテストでは 50MHz は外せません。次は移動運用でチャレンジしたいです。50MHz 最高だっ！！

JQ1COB: よく眠れました。

JQ1HZU: 次回もがんばりたいと思います。

JQ2SJM/2: Es のオープンのおかげでマルチが稼げましたが、西方向はバズが非常に強く...

JR1ERU/1: コンディション爆発して楽しめました。

JR2WBT: 1 エリア方面のグラウンドの伸びはイマイチでしたが、E スポが開け久しぶりに楽しめたコンテストになりました。

JR3BVX: お昼を過ぎてから 1.5h の参加でしたが、E スポで 8, 7 エリアとできました。今回、電子ログで提出します。もし所定の様式 (フォーマット) 等に不備があった場合でも、修正できる機会があればもっと電子ログ提出が増えると思いますデータはテキストメールのみ可でしょうか？

JA7, JA8 方面が開け楽しめた。

JR8LRQ/8: 今回は東西に有利なコンディションだったようで、8 エリアはなかなか相手にしてもらえず参りました。ショボいオープンに備えて宗谷支庁まで行ってみましたが、距離にあまり関係のないスポット的な開け方をしたようで、時間をかけて北上した意味がほとんど無かったような気がし

ます。

JS2KDD/2: 50MHz のコンディションがまあまあで、半日でしたが充分楽しむことができました。

JS3QWI: あまり QSO できませんでしたが交信いただいた方ありがとうございました。

JR2CWF: 7/6 は午前中、E スポでマルチが多くなった。昼からバンド全体静かになった。

JI5WIH/5: 短時間のコンテスト参加でしたが、FB コンディションにたすけられ、多くの交信が出来ました。次回は、本格的な移動運用を行い、上位入賞をねらいたいものです。

JE8GNN/8: 3 時間半くらいの短い運用でしたが、楽しかったです。

JA7UIW: Es が開いてバンド中にぎやかで FB なコンディションでした。

JA7GPC: 今回は少し聞こえました。フィールドデーも参加予定です。

JH1PCJ: 久しぶりのコンテスト参加でした。楽しく皆さんと交信ができました。

JR2NRP: 6m AND DOWN コンテストは、50MHz を中心に運用している局が毎年自宅から参加しています。ただ書類提出は今回が初めてです。

JA1TR/0: 小千谷市へ移動して参加しました。

JG1TVK: かなりコンディションが良く、それに上手く乗ってやれた局はそれなりに高得点を上げることが出来たものと思われる

が、合間合間に参加していたのではほとんど関係なく参加程度となっていました。

JL2FLB/1 初めて都内から運用。結構楽しめました。各局 TNX！！

JF2FMY: 今年も参加できました。ただし、常置場所からサービスのための参加です。

7M1CUN: 95 年以来 8 年ぶりにフル参加しました。常置場所からの参加でしたので色々和誓約がありましたが、とても楽しむことが出来ました。コンディションが非常に良くマルチが伸びましたが、取りこぼしも沢山ありました。もう少しスコアを伸ばすことは出来たと思いますが、満足しています。

JJ3TAE/3: 集計ご苦労様です。今年コンディションが良かったので結構マルチが増えて楽しめました。

JA2OOY/2: 今年は、愛知ハムの祭典を 6 月にしていただいているので大変ありがとうございました。友人と参加しました。楽しい 1 日でした。

JG1GCO: 今年も E スポが発生したため、マルチが増えました。

JA1ZV: 時ならぬ夏かぜをひいてしまい、フルアワー出来ず。

JH6MLB: やっぱり移動局は強いです！！

JG3RCE/3: 50MHz はたいへんにぎわってました。

JG4UWS: コンテスト久方ぶりに少時間ですが参加させていただきました。野外移動局が多いですネ。電波伝播の特性上で F の重

なりが可成り多く見られました。

JA8NKQ: 6m のコンディションがよく、十分楽しめました。久しぶりの 300 局との QSO が出来ました。6m のコンディションが良かったので 2m に QRV する暇がなかった。2m は短時間聞いた範囲ですがコンテスト参加局を聞くことが出来なかった (SSB モード)。

JR3JBH/3: 自分なりにベストを尽くしました。次回フィールドデーも参加したいと考えています。

JA2GSM: 始まりと同時に北海道、九州が少し入感。今回マルチが多くかかげたので良かった。

JH8NBJ/8: 今年の 6m AND DOWN は、2 時間強のみの運用でしたが、コンディションにも恵まれて、182 局 QSO が出来た。運用地点は砂浜に 1/4 ホイップを突き刺したものでバッテリーからの QRV です。

JM6NJU: 2 階のベランダに ANT をとりつけても交信できた。しかし聞こえている割には、相手を呼び出せない。アンテナを工夫すれば遠距離と交信できるだろう。

JA9VEQ/4: コンディションがよく楽しめました。

JA1COW: はじめて CW で参加しました。大変楽しい 2 日間を過ごすことが出来ました。これからは CW で積極的に参加しようと思っています。

JG5PJJ: 自作の HB9CV を 2 段で使用しました。自作でしたので少し心配はしてましたがいい感

じで交信できました。

JR1EEU: 大島、三宅、八丈は、北海道のように支庁マルチにしなければ不公平。せっかく出来ても南に ANT をふってくれる局はいない。これじゃ八丈の人は出ないはずです。また、前日土曜日は 12 時昼から開始してほしい。せっかく移動している局はもったいない。

JE2IMX: あいにくの雨のため移動をあきらめ、固定にての運用でしたが、コンディションに恵まれ、最近のコンテストの中で、いつになく交信局数が多かったように思います。

JR3XTO/3: 今まで 4el で運用していたのを 6 エレに変えました。その違いにはびっくりしました。

JA0GEY: Es も出て楽しめました。JD1YAB 局とも出来ましたし、8N2JHQ も出てきてくれたので満足です。

JE0ANW/0: コンディションが良くてもう少しで全てのマルチが取れるところでした。残念だったです。

JF1VCE/6: 日曜日の午前中、3 時間のみ参加でした。

電信電話部門シングルオペ 144MHz バンド

7L1FFN/2: 慣れないバンドでしたが、借り物と 15 年前の古いアンテナを使って参加しました。雨が降っていたので組み立て・撤収が大変でした。

7L2MZT/8: 北海道観光中に参加。

7M1UBW: 来年も頑張ります。7月5日の夜のみしか運用できませんでしたが、普段 UV 帯に出られない方々と QSO でき有意義でした。

JA1HHU: リグの不調で BF でした。

JA7AEM: 2F 窓際にくくりつけた仮アンテナで少しだけ参加しました。

JE2OUK: 次回もがんばりたいと思います。

JE3OZB/0: 不思議なコンディションでした。早い QSB に悩まされました。久しぶりに Phone にも出てみました。

JJ0ACA/0: 集計ご苦労様です。

JJ1XNF/1: 高所から、フル参加しました。運用場所はとても涼しく、かつ 600 局を超えてとても楽しいコンテストでした。最終交信は 15 時ちょうどちょっとオーバーのため得点は 0 として計上しました。また、50MHz1 局はチェックログ (0 点) です。

JJ8GFL/1: 子供の面倒を見ながらの参加でしたので、非常に限られた時間での運用となりましたが、結果としては非常に満足しています。来年こそはビームアンテナも導入してコンテストに専念できればなあ、と思っています。

JK8TBL/8: 次回は上位を目指します。

JL7BIS/7: 久々の QRV および移動運用でした。

JO7HRI/8: 北海道観光中に参加。

JK4AMX: 参加される局が極端

に少なくなった。

JH0DGG: 初書類提出, 50 才の手習い, チャレンジのトン, 積極参加します。次回はもっとガンバルマンします。

JJ4KFK/6: いよいよきびしい!

JH6KYJ: 勤務の関係で時間が取れませんでした。今年 JARL のコンテストには全部門参加することを目標にしています。

JF1DIJ: 親が入院していたので、運用できたのはわずか 20 分でした。

JF0AZE/0: 終日雨降り。コンディションもあまり良くありませんでした。出てくる局もだいぶ少なくなった気がします。もうすこし参加局が増えるといいですね。

JL7IXB/7: 集計ご苦労様です。

JK7CJM: 144MHz の FM バンドでの東北エリア交信可能だが、9 エリアと交信できると思わなかった。

JM3WWN/7: 今年は 1000 得点を目標にしましたが、とどきませんでした。フィールドデーも参加予定、ガンバルゾー!!

JR0JOW: 今回は天候の具合が不明だったので自宅から QRV としました。とりあえず参加という形ですが、年々参加者が減っている感じです。もっと多く繋がるといいなあ!

JR9FNY: 雨に降られたので移動できなかった。ここ 2 年の間ではけっこう参加者があつた。ニューカマーでシルバーでがんばっていた。書類の提出も以前よ

りは多くあるのではなからうか? フィールドデーとの関係もあるが梅雨が明けてからの方が参加(移動運用)しやすい。

7K4TBB/7: 本来ですと筑波山山頂から運用予定でしたが、家内の叔母の葬儀で弘前市に移動運用しました。このため交信局数も 8 局のみで終了となりました。岩木山での運用ですと交信局数も多かったかなと思います。

JH7DMS/7: 雨も上がって天気も良く、気持ちも良く楽しむことができました。

7M4PEQ/1: 集計ご苦労様です。

JL4SXA/4: 今年も 6 日にアマチュア無線赤十字奉仕団の非常通信訓練と重複し中継に入ったため、9 時半頃より 15 時頃まで空時間にオペレートをしたので、交信局はは昨年と比較し 50 局減少、マルチは 2 つ増加したが、いつも聞こえる 1 エリアからのコールバックがコンディションの関係で全く無く残念だった。

JE4KHQ: 時間の都合上、1 時間程参加しました。

JN7EMM/7: キャンプを兼ねて宮城県登米郡登米町のコテージで行いました。仲間と楽しく過ごせました。

JM4NXT: 次のコンテストもがんばって参加するゾ!

JA6LYO: 次のフィールドデーコンテストにも参加するゾ!

電信電話部門シングルオペ 430MHz バンド

7K2GMF/1: ハンディでは応

答してくれるところが少なく、興味でなかった。

7K4FVR: 次回もがんばりたいと思います。

7M1URA: 次回もがんばりたいと思います。

7N2ECX: 立川から出力 5W / 12 エレ八木の富士山ビームで、初めて和歌山 (JA3YPV/3) とつながり、ビックリしました。

7N4LXB/1: 裏山山頂での霧雨の中での参加でした。道中の登山道はぬかるし、ログシートは霧で濡れて破れそうになるし、未練を残しながら 2 時間で切り上げてしまいました。得点はともかくドロドロになりながら運用した思い出だけが残りました。

JA9MPK/9: 天候が悪くて NG でした。

JE1MPR/1: 天気もまずまずで楽しめました。

JE3CSO/3: 次回もがんばりたいと思います。

JG8HVD: 集計ご苦労様です。50MHz はコンディションも良く呼ばれる楽しみを味わえました。430MHz は聴いている人が少ないのか局数が伸びず残念でした。なお、430MHz 以外はチェックログをお願いします。

JI6DUE/3: もう少しアンテナ設備をグレードアップしないとだめなようです。他の局には受信できてこちらには聞こえない局が多かったように思えます。

JJ1EMC: 430MHz 帯 GP アンテナでは自宅より余り飛ばない為、次回はビームアンテナで挑戦したい。

JJ1TZB: 今回は QRP の局が結構多く、FT817 の影響でしょうか。

JJ7ODS: 天候が悪くて移動できなかった。

JL1SXQ/1: 昨年と同じ場所で設備を替えて運用してみました。きっと昨年よりはいい結果になるのではないかとワクワクしています。

JR9HCV/9: 数年ぶりの移動先は、周りの木々の成長が著しく見通しだったところに壁が... コンディションもよくなく、マルチがのびませんでした。参加局が少ないせいもあるのか、もちろん局数ものびません。ところで、2 日目は 12 時まででよいのではないのでしょうか？

JN3WQL: 高校の期末試験と重なり、クラブ局から運用できなかった。できれば、夏休み中の 7 月下旬にしてほしい。

JS1FVG/1: 今回も開始数時間前からのどたばた移動で、当初移動したかった場所に行くことはできませんでした。いいかげん車をちゃんと治して落ち着いて移動したいです。コンテスト自体はこれといった DX オープンもなく、今ひとつでした。

JK1NAF: 無指向性アンテナ (6mhGP) でも 200 局を超える交信ができました (内訳 CW:32.4%、SSB:6.7%、FM:60.9%)。以前からくらべると SSB 局が極端に減った気がします。

JJ5SAO: 今回は家の方がばたばたして、移動には行きませんが、今後も参加して行きた

いと思います。

JN3KDO: 久しぶりに雨も上がり FB なコンテストになりました。今後ともよろしくお願い致します。

JR1BSV: 他のバンドも参加したかったが調子の良いのは 430MHz のリグしかなかったので残念です。

7K4JCC/1: 電話部門もオールバンドだけではなく、各バンドで参加できないかなあ?(例 電話、シングルオペ、430MHz バンド)

JJ1GUM: 局数は少なかったですが楽しめました。

JJ3XJS: 初めてコンテストに参加しましたが、大変楽しくかつ勉強になりました。今後とも、コンテスト内容を充実して行かれることを切に望みますと共に、協力をさせていただきたいと思います。

7L2DOP: 23 時からの参加と 2 時間遅れでしたが、前年並みの交信局数となんとかガンバレました。もう少しマルチを稼ぎたかった・・・。

7M4ISC: 次回もがんばりたいと思います。

JJ2JQF/1: 〆切間近で気付いたので旧形式のサマリーとなってしまう。サイズは A4 にしておきますので、ご対応お願いいたします。

JJ1FGG/1: 今回は 10W で参加。

電信電話部門シングルオペ 1200MHz バンド

JA1WSE/0: QRP では混信が激しいうちはコンタクトも難し

く、ハイパワー局が一段落した時間が稼ぎ時でした。

JA6QDU/6: ローカルの 1.2GHz では殆んど局数がありません。喚けど・叫べど還り来るはノイズばかりなりけり、嗚呼来年はもう止めた! と言いながら又出て来るは、悲しき性なり...(陰の声: アホたれが又あげんところ行っておらびよるばい、コンテストやらせんでん他にすることあなんぼでんあろうもんに、クツ、糞っ、言われんでん解っちょる、止められんけんしよるったい、あん小さな穴倉に棒切れで玉入れて喜びよるとがおろうが、あれと一つもんたい。)

JH1SZO: 1200 でもこんなに交信できるのが新たな発見でした。

JH4CES/4: 今年も仕事が忙しく、お山に行けず、昨年も参加出来ませんでしたので、帰宅中の車から少しだけコンテスト気分を味わってみました。やっと電子ログでログが提出出来るようになりました。

JK7DWD/7: 岩手県盛岡市からの 1200MHz バンド (シングルオペ) は当方のみ? 聞こえた (交信した) のは、社団局の 1 局のみでした。寂しい結果でした。

JQ1AHZ/2: 天候が悪く出遅れました。

JA1FWJ: 次回もがんばりたいと思います。

JA0BDJ/1: 雨とぶよにやられて、前半は QRT 状態でした。5GHz~24GHz をやりたかったのですが、6 日は大雨で NG でした。残念。来年にもちこし。

JH2KZV: 年々 1200MHz の参加局が少なくなっているようです。オールモードでフルタイム参加して 3 局のみとは残念です。今回は移動して参加しようと思いましたが、梅雨の時期なので無理かも知れません。

JN4AIW: 時間が無く、天気も悪く、移動が出来ず、局数が出なかった。

JR0GSJ/0: 集計御苦労様です。5 月 1 日しか参加できませんでした。又、3 時間運用して 1 局しか出来ず残念でした。今後ともよろしく願いいたします。

JP3LMH/3: 開始時間をもっと早くしては。

電信電話部門シングルオペ
2400MHz バンド

7M3TSA: 久々にコンテストへ参加しました。秋の全市全郡は、時間がとれば本格的に参加しようか検討中です。

JA5REF: 雨が降り、急遽移動中止...

JG2TSL/2: 宝永山に担ぎ上げ移動をしたのですが、あまりの強風に設営を断念。中腹の駐車場からノンビリ参加しました。しかし、霧が濃いせいか、途中から何も聞こえなくなってしまいました。

JR1TMI: 6m AND DOWN 2400MHz 部門に初めて参加しましたが、相当に暇でした。

JN1GYM/1: バンドによっては、クラブ局が多く、CQ を出す周波数が見つからない!! ワッチをして空いていると思いチェックを

すると「使用中」と言われ、それから CQ を出すクラブ局が数局確認された。

JA1KKL/1: 梅雨の季節、筑波山移動で参加しました。今回は 2400MHz に力を入れましたが、交信局数 43 局で、初日 21 時から 3 時間で 32 局と 74 %をしめ、2 日目は 6 時~15 時の 9 時間で 11 局と激減し、特に 6 時~9 時の間 3 時間は 1 局も交信できませんでした。

JR5EEK: 新たに、広島県竹原市に 10.1GHz を開局した。コンテストの成果だと思う。

JH1HEK/0: 今回の移動運用では、1.2GHz、2.4GHz、5.6GHz、10GHz の 4 バンドを持って行きました。お天気は 7/6 は午前中、雨となりましたが午後はお天気があがりました。まずまずのコンテスト日和でした。また来年も参加しますのでよろしく。

JR2GGV/2: 50MHz、144/430MHz、2400MHz とリグの不調で来年はちゃんと整備して出ます。

電信電話部門シングルオペ
5600MHz バンド

JG1QGF/2: 雨がひどく、日曜日のみの参加になってしまった。梅雨の真ん中は避けて欲しい。

JH9CFT/1: お天気が良くなく霧雨状態、移動局が少なかったようです。

JS1UVH/2: 山は雨であいにくの天気、10GHz バンドでやっていたが出ている局はなく、仕方なく 5GHz でやってみたが、雨がひ

どくなり、約 3 時間で終了した。
JK1HIX/1: マイクロ波に興味が出てきました。

電信電話部門シングルオペ
10.1GHz 以上

JA5JSU: 次回も参加したいとおもいます。

JJ6DRF/6: JARL ではバンド防衛とっておりますが、マイクロ運用の関係者以外の役員の方は、気にしてもらえないように見受けられます。2400MHz 以上については、参考ログの形でコンテスト中に運用した他のバンドも提出して発表できませんか!!

電信電話部門シングルオペシル
バー

JA1CP: 毎年楽しみに参加させて頂いております、今年からシルバーの仲間になりました。

JA6AHE/6: 1959 年八幡市(現在の北九州市)で開局以来 44 年間、東京、名古屋、仙台 etc. と転勤しながらこのコールサインで、細々と運用を続けてきた。シルバー運用を楽しみたい。!

JA0AO: 年々参加局減少し淋しい限りです。せめてシルバーの仲間の参加を要請したいところです。

JA1QPG: 楽しませてもらいました。ありがとうございました。

JA3RR: 来客やら愛犬の散歩の合間にちょっぴりと参加致しました。もう喜寿を迎えたら健在証明のようなもので、若い人たちが頑張っているところに顔をだしたというような感じでした。来年も出

られることを念願しております。

電信電話部門シングルオペ QRP

7K1CPT/1: ちょっと出遅れました。日曜の午前中は E スポのコンディションが良かったみたいですね。

JE2FJI: フル参加できずに残念です。

JE7CWH/7: 昨年と違い 6m の condx が良く、開始から Es でした。430MHz が激減、終了まじかにアイボールの為に 30 分以上ロスが痛い。終了後にしてもらいたい... (泣

JF1ABZ/1: 短時間でしたが今年も何とか参加でき、ホッとしています。これからも毎年連続参加していきたいと思います。

JF3WNO/9: 雨に降られましたが風は強くなくすごしやすかったです。目標の半分ぐらいしか出来なかったのが残念。

JG1VGX/1: 宿直中の勤務先の 2F 窓からホイップアンテナで運用しました。呼びに回るのみ。もっと参加局が多いと良いのですが。。

JG8QXY: 短時間の参加でしたが、次回も参加したいと思います。

JH1HGF/1: 今回はバッテリーだけの QRP で、地球にやさしい ECO 運用を心がけました

JH1HFQ: シングルバンドでの QRP 部門を作って欲しい。オールバンドでオンエア出来る設備を持った人はわずかであり、高得点者も毎回同じ人になってしまう。ハンディ機でもやり方によっては上位に食い込める可能性があ

れば、参加者も増えると思う。

JI4RDO: QRP 部門にもバンド活性化のため 1200MHz が認められれば嬉しいです。どうせなら、県マルチのバンドをまとめたほうがルールが分かりやすいですし。

JJ1VEX/1: 50MHz では、E スポが発生してマルチも増え楽しいコンテストでした。

JK1AFI: QRP にもシングルバンド部門を設置希望。

JN3DMJ: 今回は日曜日が出勤だったため、土曜日だけの参加となりました。

JQ1KWE: 次回もがんばりたいと思います。

JR1TOK: 次回もがんばりたいと思います。

JS1LQI/1: 今回もわずかではありますが参加することができました。

JE1CMO/1: 今回 3BAND できました。50MHz で時間があればいつもは電話マルチバンドでしたが今回は QRP に参加です。

JE4AKG/1: 友人結婚披露宴出席のため上京し、披露宴終了後、宿泊先ホテルに戻り、持参したハンディ機で参加しました。ホテル 20 階のロケーションに助けられ、大いに楽しむことができました。

JA2KTX: 体調不良のため、固定からの参加で地上高が稼げず GW は不発、Es 中心で楽しみました。

JE6DYV/6: 天候は今一つでしたが、50MHz のコンディションに恵まれ大変楽しめました。微弱な電波に应答頂き、各局ありがとうございました。

JF9HLU: Es が出ていたが、6m の 8 エリアと QSO ができなかった。残念。

JH8FAJ/7: E スポにより、QRP でも楽しめました。

7N1PFW/1: 430MHz バンドにおいて、当局の近くでコンテスト参加していた局のカブリを強く受けました (FM で 100kHz 毎にかぶった他、SSB 周波数にも影響有)。山岳移動時は QRP がベターかと思われます。

JA1GND: 定年を機会に 40 年ぶりに再開、締切時刻ギリギリの参加となりました。小電力で低いアンテナでも交信できる範囲を確認する事が出来、参考になりました。次回にアンテナを整備し参加時間を伸ばしたいと考えております。

JI2NTJ/2: 長時間の 6m 運用は面白い。経時的にコンディションが変化し、鹿児島県と長崎県が出来たのがうれしかった!

JQ1NBE: JARL のコンテストは、去年のフィールドデーコンテストから QRV しはじめました。これで 3 回目です。参加賞が楽しみです。

JK1TCV: コンディションが良く楽しめました。シングルバンドの QRP 部門新設を希望します。

JA3QVQ/3: 今回 50MHz は Es 発生。北海道・沖縄と QSO できたが、1 エリアでの取りこぼしがあった。144MHz、430MHz のアンテナをグレードアップしたい。クリーンエネルギーで全部の電気を動かすことが出来た。

JL7KOQ: 6m のコンディション

が良く QRP でも楽しめました。
7L1MPQ: やはり QRP には、移動運用をしないときびしいものがあるようです。と毎年思っているのですが... 今年朝から遠方が聞こえはするのですが、なかなか交信できず残念でした。来年こそはガンバル。

JA3KYS/3: 標高 200m 位の高台(住宅地)に移動。あまり GW は伸びず(山が近すぎた)Es の発生によりマルチは助けられたが応答率が上がり局数が伸びなかった。今回もあと一步の所で 1day AJD を取りのがした残念。

7L4KBK: 電話シングルオペ QRP 部門を設定して欲しい。

JA0AUF: 隣接県をカバーする 5 マルチ・20 局を目標に、FM・QRP 運用にこだわって参加しました(UV・SSB 及び 50MHz は 5W で運用できるリグの手持ちが無く今回は断念しました)。

JK1FBA: ヨーイドンの 21 時から 6m は 5W ではかなり苦しいものがありました。夜中は 5W で CQ を出しても結構呼ばれました。

JE4HUB/1: 短い時間での運用でしたが、FB なコンテストでした。

JA0ILF/1: コンディションは上々。私用多数のため参加時間少なく残念であった。次回はもっと頑張ろう。

JR0EFE/7: 初エントリーです。当地では 2m はコンテスト中でも静かです。

電信電話部門シングルオペ SWL

JA1-22825: まずまずのコン

ディションでした。

JE2RBK: SWL で参加しました。よろしくお願ひします。

JA4-3729414: 50MHz のコンディション良く楽しめました。

電信電話部門マルチオペオールバンド

7K2IVK/3: 楽しめました。

JA1YAD: 昨年より得点が伸びて良かったです。

JA1YFD: 今年は 6m がスタート時と朝方にオープンしていたので、とても面白かった。

JA1ZGP: 雨が少しばらついたりして大変だった。曇一つない晴天というよりはよかったかもしれないが。

JA3ABV: コールサインは個人だけと思っていたが、JR3EOI 局は私の知人ではなく知らない若い人の声だった。免許切れ? クラブ名簿見たり悩んだ。楽しいコンテストが暗い気持ちになったのはなぜか。ルールが変わったのが原因か。

JA3YEA/3: 今回は第 1 回目の参加でした。来年も参加します。

JA8NNT/1: 少人数でお手軽、運用。

JF2YPW/2: 集計ご苦労様です。

JF6YME: 今年は 144MHz に 9 エレスタックを導入し他成果があり、1,9,0 エリア方面が聞こえるのに、殆どの局が呼べど叫べどかすりもしない? 混信かノイズか... とても残念でした。

JG1YGH: 楽しく参加させて頂きました。ありがとうございました。

JH0YNE/0: 電源トラブルにより 6m の 02:00~08:00 の間約 50 局分のログが飛んでしまいました。

JH7YTU/7: フィールドデーもがんばりたいと思います。

JN1ZST: 6 時間だけの参加です。

JO1YGK/2: 久々のコンテスト、担ぎ上げによるフル参加。予想以上に大変でした。

JO1ZRT: 次回も頑張ります。参加する意欲を湧き起こす方策は無いものでしょうか? 参加者が年々減少しているように感じます。上位局以外にも賞品を出したり、参加記念品を用意することも必要でしょうか?

JR1YOZ: クラブ活性化のために企画しました。定常化したいと思っています。

JR1ZTI: 参加メンバーの頑張りで、昨年より得点が増えました。

JR2ZIA/0: 次回もがんばります。

JR3EOI/3: ほとんど思いつきでのマルチオペ参加でした。どこまで食いつけるかが今回の課題です。50MHz ではにぎやかなコンテストが楽しめました。

JR4ZUZ/5: 楽しく参加させていただきました。

JR8YIK/8: クラブ局として初めてのコンテスト参加でした。

マルチオペでの運用の楽しさと 6m のコンディションの良さで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

編集後記

大変遅くなりましたが、2003年の6m AND Down コンテスト CONTEST REVIEW をお届けします。
昨年末には原稿がそろって、編集に着手したものの仕事が急に忙しくなり、延び延びになっていたところでハードディスクを飛ばしてしまい、編集途中のデータが消えるというアクシデントに見回れました。
幸い、オリジナルの原稿は残っていたので、それを元に作業を再開し、発行にこぎつけることができました。
そのドタバタもあり、全電子ログの分析などは省略させていただきました。
いろいろ苦勞もありますが、アイボールの場などで「いつも CONTEST REVIEW を楽しみにしています」などと声をかけていただき、たいへんうれしく思っています。
また今年も6m AND Down コンテストが近づいてきました。お空でお会いできることを楽しみにしています。

JARL CONTEST REVIEW

2003 6m AND Down コンテスト

発行所：日本アマチュア無線連盟コンテスト委員会

(contest@jarl.or.jp)

発効日：2004年6月

編集者：JR1LQK 土屋 勝